

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(121)、(154)」

2. 日時：令和4年5月31日（月）16時00分～18時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、熊谷管理官補佐、海田主任安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官※、松末技術参与、杉野統括技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名※

一般財団法人電力中央研究所 1名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答）  
BF4地点の泥層の堆積年代評価に関する追加検討状況
- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（コメント回答）
- ・ 浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち歴史記録及び津波堆積物に関する調査について（補足説明資料）
- ・ 浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。
0:00:05	清町のニシキです。それでは、本日のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:11	本日のヒアリングは中部電力から、浜岡原子力発電所基準津波のさ、
0:00:17	策定のうち、歴史記録及び津波堆積物に関する調査についてのコメント回答ともう一つは、同じく浜岡賢秀か発電所の敷地の地質地質構造のコメント回答ということで、
0:00:31	堆積年代評価に関する追加。
0:00:35	検討状況についても、2件になります。それでは初めに、津波堆積物に関する調査について、中部電力より説明をお願いいたします。
0:00:48	中部電力浜野でございます。本日、歴史記録及び津波堆積物に関する調査についてということで、前回5月16日に、ヒアリングをさせていただきまして事実確認いただいたところでより、
0:01:01	わかりやすいという観点で資料を再構成して参りましたのでこちらの方、ご説明をさせていただきたいと思います説明時間およそ20分程度になりますよろしくをお願いいたします。
0:01:14	中部電力西村です。
0:01:16	歴史記録及び津波堆積物に関する調査について、前回ヒアリングからの修正点を中心にご説明いたします。
0:01:24	8ページをお願いいたします。
0:01:31	前回ヒアリングで佐口さんから、1.3. 一章ん。
0:01:35	1.3. 二章の章立てと、
0:01:37	前回1.3. 二章に含めていた追加ボーリング調査やコア観察等の調査分析項目との対応がわかりにくいと。
0:01:46	ご確認をいただいておりますので、今回、青字で示すように、追加ボーリングとその観察結果は、1.3. 一章に含める形にフローを修正しました。
0:01:57	その上で1.3. 一章を基本調査、1.3. 二章を詳細調査と位置づけることとしました。
0:02:05	1.3. 一章の基本調査では、
0:02:08	検討対象をボーリングコアの全地層として、ボーリング調査及びコア観察に基づく評価を行い、イベント堆積物を評価しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:17	1.3. 二章の詳細調査では、検討対象を敷地のイベント堆積物等を対象として、CT画像観察、集N-S分析等の詳細な調査分析に基づく評価を行い、
0:02:29	海起源イベント堆積物を評価するという整理にしております。
0:02:34	このフローの修正に伴い、
0:02:36	フロー左側に示す、今回の追加検討も、
0:02:39	追加検討の①敷地の追加ボーリング調査の実施と追加検討②敷地の詳細調査の実施に、の二つに分けております。
0:02:49	追加検討①では、イベント堆積物の上流側等の分布を把握するため、
0:02:55	敷地で確認した。
0:02:57	イベント堆積物等の上流側で、追加ボーリング調査を実施しました。
0:03:01	その結果、追加ボーリング調査からは、イベント堆積物は確認されず、敷地のイベント堆積物の標高に変更がないことを確認しました。
0:03:12	追加検討②では、観察結果に基づき、幅広に評価した敷地のイベント堆積物等に対して、
0:03:19	右の表に黄色で示すような、
0:03:22	詳細な調査分析を実施し、平面的な分布や、供給元に関する分析結果に基づき、
0:03:28	海でイベント堆積物を評価しました。
0:03:31	その結果、敷地の海イベント堆積物の堆積当時の標高を約0から4メートルであることを確認しております。
0:03:39	1.3. 3章では、1.3. 1と1.3. 2の結果に基づき、
0:03:44	貴不破のイベント堆積物及び敷地の海起源イベント堆積物を津波堆積物として評価することにより、
0:03:52	津波堆積物の上限標高を約4メートル程度と評価いたしました。
0:03:57	10ページをお願いいたします。
0:04:01	今ご説明したフローの修正に伴い、追加検討①の敷地の追加ボーリング調査に関するページを元に持ってきて、まとめております。
0:04:11	11ページには、追加ボーリング調査地点を示しております。
0:04:15	イベント堆積物の上流側等の分布を把握するため、敷地で確認したイベント堆積物の上流側等で、追加ボーリングを実施しております。
0:04:25	12ページにはその結果を示しております、
0:04:28	追加ボーリングの結果、前回までの調査によって確認されていたイベント堆積物と同程度の標高に、
0:04:35	同程度以上の標高に提出堆積物が分布することを確認し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:39	その前室堆積物中にイベント堆積イベント堆積物が認められないことを確認しました。
0:04:47	13 ページからは、追加検討②の詳細調査の実施についてです。
0:04:52	14 ページは、詳細調査の検討方針です。
0:04:56	下の表のように、海イベント堆積物の評価項目、
0:05:00	分析内容、評価方法を再整理しております。
0:05:04	今回冒頭でも説明いたしましたが、ボーリング調査と、コア観察による評価を基本調査と整理したことにより、
0:05:12	詳細調査からは追加ボーリング調査やコア観察をなくしてございます。
0:05:17	また、②の平面的な分布の評価方法では、規定の考え方を明確にしております。
0:05:24	津波を海側から進入することから、
0:05:26	タニの入口海側に位置する
0:05:29	敷地西側では敷地 9 を、
0:05:31	敷地東側では、敷地 3 を起点とし、
0:05:34	イベント堆積物の基点からの連続性を、C T画像観察、帯磁率測定、放射性炭素年代測定分析人、
0:05:43	基づき評価を行いました。
0:05:45	15 ページは、1.3. 1 の基本調査と、1.3. 2 の詳細調査の評価方法の比較を示しています。
0:05:54	16 ページ、17 ページは、詳細調査の検討対象を示しております。
0:05:59	16 ページは敷地西側の検討対象です。
0:06:04	西側の詳細調査の検討対象は、下の地質断面図に赤で示す。
0:06:09	イベント堆積物と、青枠で示すイベント堆積物を関連する可能性がある地層としました。
0:06:16	特に 1.3. 一章の基本調査の結果より、
0:06:20	風生砂層直下のイベント堆積物が連続性を持って分布していると考えられることから、
0:06:26	風生砂層直下のイベント堆積物及びその端部周辺の地層について、重点的に分と分析を行ってございます。
0:06:35	右側の表には、検討対象一覧及びその中で重点的に分析した、風生砂層直下のイベント堆積物及びその端部周辺の地層を示し、
0:06:46	検討対象を明確にしております。
0:06:50	また、津波を海側から進入することから、三重イベント堆積物を評価するための平面的な分布、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:57	の起点は、下の平面図の通り、谷野入江。
0:07:01	タニの入口海側に位置する敷地級といたしました。
0:07:05	なお、敷地旧では、カイダ石を含み、コア観察結果から、明らかに海起源と、
0:07:10	判断できるイベント堆積物を確認していきまして、
0:07:13	その根拠の比熱紐づけとして、今回補足説明資料、二章の
0:07:18	83 ページに、その拡大写真を追加してございます。
0:07:23	17 ページは敷地東側の検討対象です。
0:07:28	西側と同様に、検討対象は、敷地東側で確認したイベント堆積物及び、それと関連する可能性がある地層とし、
0:07:36	特に布施砂層直下に分布するイベント堆積物とその端部周辺の地層について、重点的に分析してございます。
0:07:46	右側の表には、検討対象一覧を示しています。
0:07:50	また津波は、海側から進入することから、海起源イベント堆積物を評価するための平面的な分布の起点は、下の平面図の通り、
0:07:59	タニの入口海側に位置する敷地 3 といたしました。
0:08:03	なお敷地 3 と 4 では、海成力を含み、コア観察結果から明らかに海起源と判断できるイベント堆積物を確認しています。
0:08:14	18 ページは、踏切のイベント堆積物に関する評価結果を示しております。
0:08:20	敷地のイベント堆積物及びそれと関連する可能性がある地層を対象として、以下の表の通り、
0:08:27	②の F E M系の分布と③の供給元に関する詳細分析結果を踏まえて、
0:08:33	総合的に津波起因の可能性はあるん。
0:08:36	踏切イベント堆積物を評価いたしました。
0:08:41	今日中の地層No.には太字で不精査直下に分布するイベント堆積物と、その端部周辺の地層を示しています。
0:08:50	二つでないものはそれらより下位のイベント堆積物になります。
0:08:54	また、風雪た直下に分布するイベント堆積物より下位のイベント堆積物については、
0:09:01	W14 の⑥等を見ていただくと、注釈の*4 をつけておりまして、
0:09:06	その内容は、右下に示しております。
0:09:10	プロセッサ直下に分布するイベント堆積物よりも下位の地層であり、
0:09:15	層準及び上位層の放射性炭素年代分析の結果を踏まえると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:20	国の入口海側に位置する敷地西側の敷地 9 や敷地東側の敷地 3 イベント堆積物は連続しないことから、
0:09:28	C N - S 分析等を実施せずに、三木元イベント堆積物ではないと評価いたしました。
0:09:34	なお、これら階層のイベント堆積物を津波堆積物とした場合でも、敷地における津波堆積物の堆積当時の上限標高の評価、約 0 から 4 メートルに変更はございません。
0:09:47	また、敷地の e - ① - 1、
0:09:50	2 - ① - 2 については、
0:09:53	委員の①を C T により、二つのイベントに分けたことがわかるように、注釈のアスタリスクをつけてございます。
0:10:01	次のページ以降で、個別の評価結果について説明します。
0:10:06	19 ページは敷地西側の平面的な分布に関する詳細分析結果の概要です。
0:10:12	高垣 2 ポツ目、封精査直下に分布するイベント堆積物等については、C T 画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:10:21	津波の侵入方向の観点から、
0:10:24	テント下タニの入口海側に位置する敷地 9 において、
0:10:28	甲斐田崎を含み観察結果から客に起源と。
0:10:32	判断できるイベント堆積物、W9 - ②と、それより陸側の調査地点の地層等は連続しないと評価いたしました。
0:10:40	甲斐のイベント堆積物については、層準及び上位層の放射性炭素年代分析の結果により、
0:10:47	プロセス直下に分布するイベント堆積物よりも、堆積年代が古いことから、
0:10:52	C T 画像観察等を実施せずに、起点とした谷口海側に位置する敷地級のイベント堆積物とは連続しないと評価いたしました。
0:11:02	20 ページは、敷地西側の C T 画像観察及び帯磁率測定結果です。
0:11:09	C T 画像観察結果の分析を、箱書きの 2 ポツ目に記載しております。
0:11:15	C T 画像観察の結果、W9 - ②より陸側の不精査直下に分布するイベント堆積物について、
0:11:23	W14 - 05W18 の③は、W9 - ②で見られるような明瞭な削り込みや構造の乱れが見られず、
0:11:31	また、いずれも W9 - 0 に見られる、甲斐香月が認められず、層相が異なることを確認いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	また、ページ中央にC T画像の色のスケールバーを追加し、密度によって見え方が変わっ見方が変わることがわかるようにしました。
0:11:50	21 ページは、放射性炭素年代値とイベント発生年齢との関係がわかるように資料を追加いたしました。
0:11:58	左の漫画で示す、イベント堆積物とその上下の地層でいられる放射性炭素年代測定を
0:12:05	行った場合、
0:12:07	各地層でられる年代は、その右に記載した意味を持つと考えられます。
0:12:13	甲斐の地層は、イベント発生の前に堆積しているため、えられる年代値としては、イベントが発生した年代よりも古いと考えられます。
0:12:23	またその上のイベント堆積物は、リベット発生前に堆積した地層が移動して再堆積していることから、
0:12:31	イベント堆積物からえられる年代値は、イベントが発生した年代よりも古いと考えられます。
0:12:38	このことから、さらに右で記載しているように、イベント発生年代は、
0:12:42	イベント堆積物及び下位の地層からえられる年代値よりも後と考えられます。
0:12:49	また、イベント堆積物を覆う上載層は、イベント発生後に堆積した土層であることから、
0:12:56	イベント発生年代は、
0:12:58	上載層からえられる年代値よりも前と考えられます。
0:13:03	また、各放射性炭素年代測定値は、右の図に示すように、幅を持ってございます。
0:13:10	その幅のうち、古いものを下限値、新しいものを上限値とした場合、
0:13:16	イベント発生年代の上限と下限は、右下の記載のように評価できると考えられます。
0:13:23	まず、上限値については、
0:13:25	イベント堆積物の上載層の試料の放射性炭素年代値の幅の上限値のうち、最も最も古いものと評価されます。
0:13:35	下限値については、イベント堆積物及びその下位層の試料の放射性炭素年代値の幅の下限値のうち、最も新しいものとして、
0:13:45	評価されます。
0:13:48	22 ページは、敷地西側の放射性炭素年代分析結果です。
0:13:54	起点のイベント堆積物と、他のイベント堆積物等との堆積年代が重なるかどうかを評価してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:01	23 ページは、22 ページで堆積年代を比較した結果、
0:14:05	起点と堆積年代が重ならない可能性がある地層について、
0:14:10	その上下の地層でW9-②と堆積年代が概ね同じと考えられる地層のコア写真とC T画像を並べて示しております。
0:14:19	前回の説明で、このページについては参考としてございましたが、参考を削除してございます。
0:14:27	2425 ページは、敷地東側の平面的な分布に関する詳細分析結果の概要です。
0:14:34	24 ページですが、箱書き二つ目。
0:14:37	風雪直下に分布するイベント堆積物等について、C T画像観察及び放射性炭素年代分析に基づき、
0:14:45	津波の侵入方向の観点から起点としたタニの入口海側に位置する敷地さんにおいて、
0:14:51	海成れきから成り、この観察結果から明らかに海起源と、
0:14:54	判断できるイベント堆積物、
0:14:57	伊井さんの②と、次の④等と連続すると評価し、オオノ②より陸側の調査地点の地層とは連続しないと評価いたしました。
0:15:08	位のイベント堆積物については、層準及び上位層の放射性炭素年代分析の結果により、
0:15:14	風雪た直下に分布するイベント堆積物よりも、堆積年代が古いことから、
0:15:19	C T画像観察当時施設に起点としたタニの入口海側に位置する敷地さんのイベント堆積物は連続しないと評価いたしました。
0:15:29	2627 ページはC T画像観察及び帯磁率測定結果です。
0:15:34	28 ページは放射性炭素年代分析が、
0:15:38	29 ページは、市西側と同様に、既定のイベント堆積物と堆積年代が概ね同じと考えられる堆積物の比較を示しています。
0:15:48	30 ページは、平面的な分布に関する詳細分析結果のまとめです。
0:15:54	後期のポツ1ポツ目。
0:15:56	敷地西側及び東側の海起源イベント堆積物の平面的な分布に関する検討は、
0:16:03	実施したC T画像観察及び放射性炭素年代分析結果に基づき、
0:16:08	津波の侵入方向の観点から起点としたタニの入口海側に位置する敷地西側の敷地9や、
0:16:15	敷地東側の敷地さんのイベント堆積物と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:19	C T 画像観察による層相。
0:16:21	堆積年代がともに同じと考えられるものを起点から連続するイベント堆積物と評価いたしました。
0:16:29	31 ページからは、供給元に関する詳細分析についてです。
0:16:34	32 ページは敷地西側の C N - S 分析結果、33 ページは敷地東側の C N - S 分析結果です。
0:16:42	34 ページを D N S 分析による津波堆積物分析の事例を示しています。
0:16:49	津波堆積物に強い N - S 分析を適用した木村ほか 2011 の説明を追加しております。
0:16:57	木村ほか 2011 では、
0:16:59	現在、
0:17:00	演台海岸部において、現地調査を行い、東北沖地震による津波により形成されたと考えられる。
0:17:07	とドレープに対して強い N - S 分析を行い、
0:17:10	その分析の結果、
0:17:12	全有機炭素
0:17:14	を、
0:17:15	と、全員全容の日がベルなアンドライブによる海成層の分布範囲の領域に入っていることを確認しています。
0:17:25	左上に木村ほか 2011 が実施した G N S 分析結果の表を示しています。
0:17:31	また、右側のグラフに、木村ほか 2011 と、宮元玉井 2014 の、
0:17:36	C N - S 結果を
0:17:38	亀井ほか 2000 にプロットしたもので、
0:17:40	赤丸とピンク四角の、木村ほか 2011 の結果が、海成領域にプロットされること。
0:17:47	宮本福田前 2014 のファイルの印が、淡水性の領域にプロットされることを確認いたしました。
0:17:56	35 ページは、海起源イベント堆積物に関する評価結果の再掲です。
0:18:02	36 ページは敷地西側の詳細調査分析に基づく評価結果のまとめです。
0:18:09	37、38 ページは、敷地西側の詳細調査分析に基づく評価結果のまとめです。
0:18:16	39 ページは、踏切イベント堆積物の堆積当時の標高を示しています。
0:18:23	40 ページからは、1.3. 3 章の現地調査による津波堆積物の評価についてです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:31	41、42 ページに、敷地の津波堆積物に関して、1.3. 一章から 1.3. 3 章の、
0:18:39	評価結果のまとめを追加してございます。
0:18:42	敷地のイベント堆積物にはどういうものがあり、各イベント堆積物についてそれぞれどんな調査結果に基づいて、最終的にどう評価したのかがわかるように整理し直しております。
0:18:55	1.3. 一章の基本調査では、①から③の層相平面的な分布、供給元の三つの評価項目において、
0:19:04	コア観察に基づき評価し、
0:19:06	右に丸で示すものをイベント堆積物と評価いたしました。
0:19:11	1003. 二章の詳細調査では、1.3. 一章で評価した記事のイベント堆積物、
0:19:18	及びそれに関連する可能性がある地層を対象として、②③の項目について、
0:19:24	詳細分析を行い、起点からの連続性が確認され、
0:19:28	海起源と判別されるものを、三木がイベント堆積物を評価し、
0:19:33	最終的にはそれらを津波堆積物として評価いたしました。
0:19:38	42 ページは 41 ページの判例です。
0:19:43	43 ページは、最終的な敷地の津波堆積物の分布を示す図を追加しております。
0:19:50	その堆積当時の標高を約 0 から 4 メートルと評価しております。
0:19:55	44 ページは、現地調査による津波堆積物の評価結果です。
0:20:00	45 ページは、現地調査による津波堆積物の評価のまとめになります。
0:20:07	以上がコメント回答資料になります。
0:20:10	資力ありまして、補足説明資料の 2 ページをお願いいたします。
0:20:15	今回本編資料で、追加ボーリング調査を基本調査に含めたため、補足説明資料の一章と二章についても、
0:20:23	既往ボーリングと追加ボーリングを合わせて整理してございます。
0:20:29	30 は、
0:20:30	ページ数 83 ページをお願いいたします。
0:20:35	前回ご確認のあった、W9-②の甲斐香月について、こちらのページに拡大写真を追加してございます。
0:20:44	当社の説明は以上です。
0:20:49	規制庁のニシキです。ご説明ありがとうございました。それでは確認の方に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:54	ありたいと思いますが、まず私の方からですけども、
0:20:59	ちょっとやっぱり説明を聞いててよくわからないところが、
0:21:04	で、まずその
0:21:07	人期限、
0:21:08	イベント堆積物を認定する。
0:21:12	根拠の順番みたいなので、何かどっかに書かれてたりするんですかね 例えば最終的にその化学分析が
0:21:22	決めてい決定打としてなっているのかそれとも、
0:21:26	貝化石があるからもう、そうなんだとか層相の方が例えば赤井化石がなくとも例えば、津波堆積物的な層相をしているのでそちらの方が、
0:21:38	認定根拠としては高いだとかそういったところの優先順位といいますか プライオリティ、何かつけてたりするのかっていうのをちょっと確認したいんですけども。
0:22:01	中部電力西村でございます。
0:22:05	コメント回答し、本編資料の方で
0:22:12	18 ページをお願いいたします。
0:22:16	こちらに
0:22:18	②と③の評価結果のまとめを示してございまして、
0:22:23	ミーティングイベント堆積物の認定については、その②、
0:22:27	まず、三井元のイベント堆積物からの連続性が確認されたもの、そして ③の紙、
0:22:35	供給元として海起源と判別されるものの両者を確認されたものについて、 右のイベント堆積物といった認定をしております。
0:22:49	規制庁のニシキですということは、C、これと、②と③もってということ なので、それ両方までないと。
0:22:59	海起源とは言えないという、
0:23:01	ことで評価した。
0:23:03	ということですかね。っていう理解で正しい合ってますか。
0:23:12	はい。中部電力の久松です。補足しますと、結局総合的な判断ということ で評価しております。
0:23:21	繰り返しになりますけど連続性と、海起源のものが連続しているかどうか ということでもまず確認しております、
0:23:30	そういったものは、まず海起源と判断しておりますがそうではない、連続 性が確認されないものにつきましても、C N-Sで、
0:23:41	確認をして、仮にそういうものが、三木元ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:46	確認できれば、もう1回
0:23:49	精査して連続性の確認をして、
0:23:53	図、
0:23:55	最後総合的な判断をしているということになっております。
0:24:05	規制庁ニシキです。
0:24:06	うん。ちょっとその辺ちょっと関連して、もう1個確認したかったところが、あくまでも連続性が、例えば連続性がない、海起源らしいものがあった場合、
0:24:18	が孤立してあった場合ってどう考えられるのかなっていうのも気になってるっていうところなんですけども、その辺りの考え方を下にあったと、した場合はどう評価しているのかっていう考え方ってどういう整理なんですかね。
0:24:32	はい。中部電力の久松です。仮にあった場合ということなんですけど、結果として今のところす、総合的な結果がえられているんですが、
0:24:44	連続性が認められるか認められないかというのは、
0:24:48	程度問題も、どれぐらい、確実にそういったものがあるかどうかという確認もありますので、それぞれ、場合によって精査して、
0:24:59	総合的に判断していくことになるかと思っております。
0:25:06	木曾ニシキですありがとうございます。そのもとだけ、連続性っていうものは基本的には層相が似ているから、見てないからってところで連続性を、
0:25:19	なし、あるやなしやということを見ているっていうことでの理解で正しいですか。
0:25:24	はい。中部電力の久松です。今回放射性炭素年代分析を、数ふやしております、
0:25:32	年代の分解能といいますか精度を上げておりますので、
0:25:37	そちらも重視しております。年代で、重ならなければ、同じイベントではないということがかなり確度高く判断できますので、
0:25:48	今回の検討では、年代における連続性の判断というのは、かなり重視はしております。
0:25:57	それとあわせて、層相も含めて、判断しているということです。以上です。
0:26:06	規制庁西です。わかりましたってことはいわゆる時間面って言いますかそれをかなり重き置き
0:26:13	をかなり重視しているということで理解いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:22	引き続き、規制庁ニシキですけども、ちょっと下確認というところで今回評価結果を、4名、8メートルから4メートルに変えてこれらとてると思うんですけども、
0:26:38	確認なんですよ。その4から8の中に、
0:26:42	もともとイベント堆積物としてたものについては、
0:26:47	あるやなしやというのとそれについてはすべて、すべて陸期限ですっていうところは担保取れてるとい、
0:26:55	ことで、問よろしいですか。
0:27:00	中部電力西村でございます。はい。ニシキさんの確認の通りで
0:27:05	確認を取りC N月によって力減といったことを判断してございます。
0:27:12	ステージ認識です。要は少なくともCMSをやってイベントだったり、何だかももともとでいうと標高、
0:27:20	5、5名、
0:27:21	4、最終的な評価として4から阪神なるところのものに、
0:27:26	何か確認漏れはないっていいこといいですね。
0:27:33	ページ。
0:27:34	41ページ、すいません41ページをご覧、
0:27:40	に記載しておりますが、
0:27:42	基本的に一番上の地層イベントにつきましては、連続性と強いN-Sと いうことで、
0:27:52	海起源のものが連続していないこと、あと強いN-Sで海起源と出ない ってことを確認しております。
0:27:59	あとそれより深い方の地層につきましては、コメントを呼んで、先ほど 西村の方から説明もさせていただきましたが、
0:28:09	※4の方で記載してある通り、その上のイベントが海起源、入口にある 期限、
0:28:20	起点としたイベントよりも古い地層で
0:28:24	起点とするボーリングのコアのところに連続するようなイベントがいな いってことを確認できておりますので、
0:28:33	そういったところで強いN-Sと、詳細な分析をしなくても、
0:28:39	海から連続するものではないと判断して、
0:28:44	判断できると考えて否定しているところもあります。
0:28:48	以上です。
0:28:53	規制庁ニシキです。はい。ありがとうございました。中身について確認 できました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:02	あともう一つ私の方から今度ちょっと、供給元に関する詳細分析の話なんですけれども、今回CN-S分析、
0:29:13	というまち化学分析ですよそれを用いて、津波堆積物、
0:29:19	外中っていうなところも一つの判断指標にされてるかと思うんですけども、そもそもこのCAMS分析って、津波大好き物の判別に適用可能なのかっていうところに、
0:29:33	が少し確認したいところで、これって、何か論文とか見るともとの適用範囲って海成大好き物とか、汽水生大好き物とか、
0:29:43	共感下船堆積物とかそういった区別するような手法であって、何か機能は何て言いますか、硫化物がどれぐらいできてるのかっていう、
0:29:54	ちょっとその形成プロセスにあるような感じがするんですけど、何か津波堆積物って、
0:30:01	それに対して、
0:30:02	しずとたまってできるようなもんじゃないして何か海、海からパーッときている淡水もまじってというような環境で作られるような堆積物のような気がするんですけども、
0:30:13	そのあたり、これを、津波堆積物、
0:30:17	何だ。
0:30:18	もう、イベント堆積物、
0:30:21	という、津波堆積物をなんていいますかCMS分析である程度判別できるっていうのはこの木村、岡戸塚の
0:30:30	ものである程度使われてるから良いというような理解を御社はされてるという。
0:30:36	ことでいいんですかね。中部電力西村でございます。
0:30:40	おっしゃる通りで木村ほか2011において投光器の地震によって、トークの実施により津波によって形成されたマットドレープに対して、
0:30:50	強いN-Sを適用して、そちらの値が、
0:30:55	TOCとTs-日が海成の値を示したということ。
0:31:00	から、普通に調査でもう使われているといったところが、
0:31:04	一つと、実際にそれを、当社のイベント堆積物で、特に化石を含む、
0:31:11	敷地西側のW9-02ですが、32、
0:31:16	間瀬さん11ページの31ページに示している、W9-②、
0:31:21	海起源イベント堆積物に対して適用した結果についても、同じように海成の領域にプロットされたことから、
0:31:31	津波堆積物の評価。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:32	甲斐海水海陸の判断については使える。
0:31:36	のではないかといたところで適用してございます。その結果、
0:31:43	他のイベント堆積物についてはあまり期限といった、
0:31:47	判別がなされたといった結果は今回の結果になってございます。
0:31:57	季節認識です。はい、言いますと、ひとまずこの引用されたもので判断して
0:32:06	というのとこの紙の図のところにも
0:32:11	領域ぎりぎり劇的な変化だけでも入ってくるからっていうところなんです
0:32:19	ね。わかりました。ちなみに今回C、
0:32:22	どうなんだ、断層医療費だけを。
0:32:22	考えてますけども、炭素窒素費とかで、なんか結構どう性プランクトン
0:32:34	だとか陸上の植物がオオイだとかそういったところの指標に使ってたり
0:32:34	する。
0:32:34	研究例もあったりするんですけどもあまりその辺は検討はされてないっ
0:32:40	ていうことでよろしいですか。
0:32:40	中部電力西村でございます。
0:32:43	おっしゃる通りですね、もう1つカイダ31ページの方になるんですけど
0:32:49	でも右側の、
0:32:49	表で示す分析結果と示したところの下に、
0:32:55	目の下で、さらに箇条書きというか、ポツで書いてるんですが、C N比
0:33:07	というところは、堆積物中に陸上高等植物等が含まれる値を示して、
0:33:07	堆積当時敷地は海岸付近に、
0:33:10	高等植物が繁茂する環境であったといったことが考えられるということ
0:33:23	を書いてございますが、海だからといってこのC N比が低いといった結
0:33:23	果になるとは限らないことから、今回の市、
0:33:23	海陸の判断にはC N比ではなくてC s比を用いたといったことになりま
0:33:30	す。すいませんちょっと、
0:33:30	前提のC Nが海だとどういう値が出るのかかってそういう、ちょっとこ
0:33:36	れを飛ばしちゃったんですけど。
0:33:36	再度ちょっと補足すると、C N比は、
0:33:42	文献で、一般的にはその海野値が
0:33:47	海の影響が強いトーマ6から7程度の低い値を示すのに対して、陸上の
0:33:58	高等植物とかが入ってくると、15以上の値を示すよといった知見が、
0:33:58	あると、そこから、その海であれば、低い値を示して、
0:34:03	陸であれば高い値を示すんだといったことが言われているんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:07	当社の内湾性能シルトを対象にした分析においては、
0:34:13	こんな海でたまったものについても、C N比が高い結果となって、これは
0:34:19	その当時、堆積海岸付近に動植物が繁茂する環境であったといったことが考えられると。
0:34:26	で、
0:34:27	当初の敷地の津波対策についてはC N PではなくてC S Dを用いて判断したということになります。
0:34:36	規制庁のニシキです。ご説明ありがとうございますこの30ページのポツのところに書いてる内容のところですね。はい。わかりました。いづれにしろ、
0:34:47	何て言いますか、私、次やってるってわけじゃないでしょう。そういう植物もそう。うん。
0:34:54	何て言いますか、海岸ページのものが入ってくるから少し、
0:34:58	海がいわゆるプランクトンの辺りよりは少し高くは出ているんだというご説明ということで理解しました。
0:35:06	ね、ちょっとまず私、
0:35:08	私の方から以上です。
0:35:34	規制庁佐口ですけど、幾つか確認をさせてください。
0:35:40	で、前回のヒアリングで結局調査結果もまとめて、どうなんですかっていうので、今回41ページ追加していただいたと思うんですけどこれによって、
0:35:52	どこで何をやって、どういう結果がえられたかっていう一覧としてはです、すごくこうわかりやすくなったかなと思うんですけど。
0:36:03	一方で、ちょっとこれは確認なんですけど、今この41ページとかに出されている。
0:36:09	もので、
0:36:11	これイベント堆積物って、
0:36:14	すべてということよろしいですか。それとも、このほかにも実はイベント堆積物っていうのもあるんだけど、あくまでも評価対象として選定をして、
0:36:26	それから検討を用いたのが、
0:36:28	この41ページにあるもの。
0:36:31	なのか、ちょっとそこを教えてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:36:34	中部電力の西村でございます。まず結論から言いますと、こちらのイベント堆積物としてのものは、1.3兆で、
0:36:43	認定したイベント堆積物すべてのものになります。
0:36:47	そちらは、
0:36:49	本編の72ページのほうをご確認をお願いいたします。
0:36:57	はい。で、
0:36:59	72ページには、観察によって認定したイベント堆積物と、イベント堆積物ではないものを示してございます。
0:37:07	で、表四つに分かれてございますが、一番左側イベント堆積物と認定した地層になってございます。
0:37:14	イベント堆積物は菊川と敷地の西側東側で確認されてございまして、敷地の西側と東側で認定したイベント堆積物を先ほどの表に持ってきてございます。
0:37:26	地方事実としては以上になります。
0:37:30	はい。規制庁佐口ですわかりましたありがとうございます。なので基本的には敷地の中、外も含めてだな。そうですね。御社が、
0:37:41	少なくともコア観察とか等で、イベント堆積物っていうのは、すべて網羅をされているっていうご説明だったのでそこについては、
0:37:52	わかりました。で、
0:37:56	結局最終的に
0:37:59	他のところですね、周辺とかも含めて、
0:38:04	どういう結果になったかっていうのが、
0:38:08	例えば44ページとかってあるんですけど、
0:38:12	当然ながら、
0:38:16	菊川はどうかっていうと、
0:38:19	あくまでも年代ですね、年代でいくと、約二、三に2000、
0:38:25	年前以降とか、4000年前、以前、以前、
0:38:30	とかで書かれていて、敷地の中で見ると、6000年前、
0:38:39	っていうふうなんですけど、
0:38:40	なので、敷地の中っていうのは、菊川で言うところの、
0:38:46	6000、
0:38:48	天前。
0:38:50	以外のものですよね。2000円とか3000円とか、
0:38:53	あと、
0:38:54	御社じゃなくて文献とかでもされてる。これ今回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:59	追加していただいた、何ページ。
0:39:04	56 ページとかで、実際に幾つか見つかっていて、例えばこの地点では何層見つかってますよ。
0:39:14	いつのものが、
0:39:16	卵巣あります。
0:39:18	ていう分あるんですけど、
0:39:19	結局、
0:39:21	この敷地の中っていうのは、だから、この 6000、
0:39:25	年前の地層、
0:39:28	一つ、
0:39:29	年代としてですね、だけで、他の年代のものは一切見つかってないっていう理解でいいですか。
0:39:37	中部電力西村でございます。はい。佐口さんのおっしゃる通りでございます。
0:39:49	はい、規制庁昨日、事実関係わかりました。ということは結局、それって何か最初の方にあったかもしれないんですけど、いわゆる
0:39:57	浜堤で
0:39:58	とかの関係で、結局その
0:40:01	6000 年前、
0:40:02	津波、
0:40:04	っていうのが、非一番大きいのかな、何かわからないんですけど、高いとか、そういう関係で敷地の中だと、それ一層しか見つかってなくて他は。
0:40:16	例えば、もっと浜堤が低かったり、なんかそういう関係もあっていろいろ見つかるって。
0:40:22	そういうことなんですかねごめんなさい全く見当違いだったら申し訳ないんですけどそこをちょっと教えてください。
0:40:31	中部電力西村でございます。
0:40:34	敷地の方につきましては、20、
0:40:42	19 ページから 24 ページでもいいんですが敷地西側と東側の地質断面図を示してございまして、
0:40:50	敷地においては、大体約
0:40:53	3500 B C とか、
0:40:56	案から 3000 B C ぐらいっていうと、5500 年前から 5000 年前ほどに、布施砂層が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:04	発達しております、出先を形成してございます。
0:41:08	それ、それ以降につきましては砂丘が発達していることから、
0:41:14	おそらく、それを乗り越えるような罪っていうものが、
0:41:18	実際来ていなかったんじゃないかなというふうに考えてますこれは、このコア観察結果に基づいてそういうふうな判断をしてございます。
0:41:26	ただ、
0:41:27	その堀田地域の、との
0:41:30	関係につきましては、ちょっと、
0:41:33	まだ検討をしてございませんので、
0:41:36	ちょっと敷地の中だけの話になって申し訳ないですが、敷地については、大体そういった先の発達によって、津波が来なかったんじゃないかなかなというのを今考えてございます。
0:41:51	はい。佐口です。ちなみにですけど、
0:41:54	最初の方に、7ページかな。7ページの一番、
0:41:59	最初のところに、この遠州灘沿岸域では、三、四、3から4メートル程度の浜堤であって、当然それを大きく超えるようなものが、
0:42:09	あったかなかったかっていうのを見たときに、
0:42:12	今多分6000年前のものがそれを超えるようなものだったのかなっていう。
0:42:17	イメージはしているんですけど、
0:42:20	じゃあその認定が高いとか低いとか、あと実際に菊川とか、他のところでやっても、それって、川を例えば遡上してきたりとか、
0:42:30	何かそんな要因もあるかなとか思って、いやその辺りちょっと、
0:42:35	どういうふうに、その敷地と、それからその周り、
0:42:38	猫の年代が違うものが、しかもその1枚だ。
0:42:45	やはり2枚だったり3枚だったりっていう複数あるところもあれば、
0:42:49	御社の敷地のようにもう1枚しかないとかっていうところもあって、何かその違いがどうなのかなと思ってちょっとお聞きしたんですけど。
0:42:59	はい。中部電力の久松です。
0:43:01	場所場所、地域地域によって地形が違いますので、残るイベントが違ってくることはあるかとは思っておりますが、74ページを見ていただきますと、
0:43:14	津川の流域の断面図が載せてあります。こちらの方アカホヤの方がマイナス5メートルということで
0:43:25	大体その辺りに、7000年ぐらい前ですかね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:29	の児相がありますので菊川の方は、逆に、その当時ですね大分水がついていて、
0:43:38	海底だったので、津波があったかないかっていうのは海の中ですので、来たとしてもそれがまた、
0:43:48	海で現れて残ってないだとか、そもそも深いところですので、特徴があまりあらわれない、うん。深井といいますか。
0:43:57	改定の中ですので、あまり精査ができ、していないというかできないというところがありますので、
0:44:05	こちらの方、
0:44:06	同じ津波があったかもしれないんだけど、海の中だったのでちょっと残ってなくて確認できない可能性はあるかとは思いますが。
0:44:15	それに対して敷地内の方は砂丘ができ始めてますので、
0:44:20	標高高くなってますのでそこまでは到達してなかったのかと、残るような地形ではないと。
0:44:28	いうこと、あと一番初めの方に書いてたと思うんですけど、そもそも非常に狭いポケットといいますか
0:44:37	一般的な仙台部屋だとか浜松の方だとか、広い部屋のところで、津波堆積物広く分布するかどうかっていう調査が各地をなされていると思うんですけど、ここは、
0:44:52	敷地内な。
0:44:54	下は非常に狭いタニ地形の中で、
0:44:58	調査、チャレンジ的にやっておりますので、
0:45:01	残りにくい地形だったということも、一つあるかとは思っております。
0:45:07	以上です。
0:45:12	はい。規制庁佐口です。なのでいずれにしてもその昔の知見によるところが大きいと、そういう理解でよろしいんですかね。
0:45:21	はい。中部電力久松です。そのような理解で結構かとは思いますが。結果としては今回精査しまして、周辺の演習等の、
0:45:31	他地点の調査地点とある程度整合的な結果がえられておりますので、
0:45:38	こういった調査結果で、整合的な結果がえられたのかなとは思っております。以上です。
0:45:47	中部電力浜野です。68 ページ、ご覧いただけますかね。
0:45:57	今佐口さんにご確認いただいてヒサマツからも説明させていただきましたがやっぱり遠州灘沿岸で太田川低地だとか、浜松兵みたいに広く、
0:46:10	オープンになった。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:12	ところでは、各機関がしっかり調査してるんですが、右の方見ていただくとやっぱり菊川だとか、敷地の中或いは大坂のところっての非常に入り組んだ。
0:46:23	地形になってますので、当然、津波の入り方は
0:46:30	どういう波源によるドエル波かによって変わってきてるので、なかなか一律に一緒にここ、同じ高さまで来るような地形ではないということまでは確認しております。
0:46:49	はい、サグチです一応、
0:46:52	わかりました。で、ちょっと最初の方にですねニシキの方から確認をしたんですけど、結局、
0:47:02	41 ページでまとめてもらって、非常によくわかった反面ですね、
0:47:08	逆に
0:47:10	なんでっていうのもあって、
0:47:12	結局そのアスタリスクがこれいっぱいついていて、
0:47:17	結局ですね、
0:47:20	供給減を判断する、一つとして強いN-S分析やってるんですけど、
0:47:27	何かこう見るとですね、実は
0:47:31	海、
0:47:32	て、
0:47:33	いうもの、最終的に海っていうふうになったものっていうのは、
0:47:38	これ、ほとんどこれほとんどっていうか全部かな。
0:47:42	C N - S ってやってない。
0:47:44	ということでもいいんですかね、実はやってるんだけど、主たる根拠として使っていないのか、それとも本当にやっていないのか。
0:47:53	ちょっとそこを教えてください。
0:47:56	中部電力西村でございます。C N - S 分析についてですが、
0:48:01	30、
0:48:04	1、
0:48:05	ページをお願いいたします。
0:48:07	まず敷地西側の方なんですけども、
0:48:11	おっしゃるように主たる根拠としては、敷地西側のW9-②というのは、甲斐香月を含むところ、ところから海起源イベントと、
0:48:21	判断してございますんで、そこについては、C N - S 分析を実施して、
0:48:26	海という結果を獲られていると。で、
0:48:30	判断してございます東側につきましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:34	33 ページに、
0:48:36	お願いいたします。
0:48:38	こちらについては、海成力を含むところからことから、供給元を海起源と評価している、おります。
0:48:46	この左の分析結果の表のところに※1 で、少し小さいですが非記載してございます。
0:48:53	これ亀井ほか 2002 にも記載しておりますが、歴というものは、有機炭素や窒素Uをほとんど含まないといったところから、
0:49:02	C N - S 分析による供給元の判定は困難ということが書かれてございまして、
0:49:08	海成力を含むと、そういった硫黄分とかが抜けやすいといったところがあるといったところからも、
0:49:16	適用範囲外として、こちらについては海成力を含むというところを主たる根拠として海起源と認定してございます。
0:49:23	ですので結論としては、W9-②については、
0:49:28	測定して確認をしてるんだけど、基本の主たる根拠としてはそういったない中に入ってるかや海成力を根拠として海起源を判断しているといったことになります。
0:49:44	はい。佐口ですもう、
0:49:47	事実関係、確認はできましたので、
0:49:52	C N - S 分析をやっ。
0:49:54	ているのは、何ともW9-②、
0:49:57	だけっていうことなんですけど、ちょっとこの表って逆に言うと、
0:50:02	何かこう、
0:50:04	誤解を与えるかなっていうのがあって、実はそのC N - S 分析により、
0:50:10	海に行く期限を評価と、実はこの表はなってるんですけども、それ以外のものもあって、当然それがアスタリスクで書かれているものであって、
0:50:21	だから、ちょっと何かこう、
0:50:23	誤解を与えて、これ全部C N - S やった結果、
0:50:29	なっているように一見するとですね。
0:50:31	見えるというところ。
0:50:34	なので、
0:50:36	そこは当然新N - S やってるW9 の②っていうのはそれも含めて、
0:50:43	評価をしてるんですけど、でも実際にはやってないのに、何か差も

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:49	やったように、
0:50:51	誤解を受ける。
0:50:52	表になっているかなと思うので、ちょっとここはですね、
0:50:58	工夫をしていただいて、その工夫が結局*なのかもしれないんですけど、むしろ、
0:51:05	バーにしておいて、アスタリスクをつけるとか、
0:51:10	の方が逆に言うと何かこうさもCMSやってますよというようなイメージがあって、ちょっとそれは事実と違うかなっていうところあるんで、少しここは工夫していただきたいと思います。
0:51:27	中部電力西村でございます。承知いたしました。一応前回
0:51:33	衛藤。
0:51:34	円礫、海成ですね海成歴や甲斐勝木を含むところについてはそれ自体で、
0:51:41	植木元と判断しますよといった記載を変えていたんですが、今回ちょっと、
0:51:46	調査の章立てというところを見直したところそういった記載もなくなって、ちょっとCN-S分析でだけで、Wの②やそういった海成力を含むところも判断しているというような勘違いを、
0:52:00	が、勘違いを起こしてしまうということなので、こちらの方についてはちょっと記載のほうを、適正化させていただきます。
0:52:13	はいサグチです。堀家。私から以上です。
0:52:28	規制庁のカイダです。
0:52:31	ちょっと私も事実関係の確認程度かなと思うんですけど、確認します。
0:52:39	すでにご説明あったと思うんですけど改めてってことで72ページで、
0:52:47	イベント堆積物に関する評価結果、1.3. 1所で、
0:52:55	一番左側で、
0:52:58	これは津波堆積物に見られる特徴で、
0:53:02	結構な量の採取、
0:53:06	ナンバーがついた番号のところ、
0:53:09	供給元が海っていうふうに書いてあつ。
0:53:12	て、
0:53:14	これは一応、
0:53:17	コア観察とかをした結果、海だというふうに判断。
0:53:22	されてると思うんですね。で、
0:53:25	その

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:27	さらに詳細な観察をした結果、
0:53:31	えっ。
0:53:33	109 ページ。
0:53:36	の一覧にいくと、
0:53:40	の海ってなってたところは、
0:53:45	この
0:53:47	一対一. 3.2 の、
0:53:50	②の
0:53:51	これもやっぱり平面的な分布、周りとの連続性で、
0:53:57	海じゃことごとく全部海じゃなくなってるんですけども、
0:54:03	ちょっともう一遍この
0:54:07	左側の欄では海だったものが、
0:54:11	右側の欄では、海じゃなくなったっていうのは、決定的な違いっていうのは、
0:54:17	何なんのかなっていうのをちょっと改めて確認。
0:54:20	したいとか説明いただきたくてこの C T 観察帯磁率放射性炭素年代分析に基づき評価したら、
0:54:28	こうなったというところなんですけれども。
0:54:31	ちょっともう一度ちょっとすいません聞き逃したんかもしれないんですけども、
0:54:36	ちょっとこの辺で決定的な違いっていうのは何だったのかなっていうところをね、説明っていうか補足で、
0:54:43	聞かしていただきたいんですけども。
0:54:47	中部電力西村でございます。
0:54:49	72 ページ G のところ、まずその従来 1.3. 一章の部分でコアさ観察によって認定していたものというところを、
0:54:59	まずご説明いたします。
0:55:03	層相と、平面的な分布と供給の三つの
0:55:07	津波堆積物の特徴。
0:55:09	を踏まえて項目について、この観察で検討したといったところで、
0:55:15	基本記号の凡例として右に書いてございますが、層相であれば、
0:55:21	構造の乱れ削り込みがあるとか、平面的な分布では 2 点以上に連続的な分布があるよとか、
0:55:29	海側までは連続しないものを含むものもありとしましたとかってことを書いてございます。供給元につきましては、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:37	海と書いてございますが、円礫等から海起源と判断されると、括弧書きで、下記に当てはまらずてできないものを含むと。
0:55:45	書きというのが河川だったり崩れだったり、植生といったところになります。
0:55:51	やっぱりこのコア観察によって、完全に海起源だと認定するに、
0:55:57	至るものって、かなり少ない。
0:55:59	実際化石や海成力といったところが下明らかに、無期限だろうと判断されるものになるんですけども、
0:56:06	それ以外については、その下の河川性の堆積物や崩れに該当しないであろうとされるものについては、保守的に海起源を否定できないものとして認定してると。
0:56:20	で、
0:56:21	今回、その供給元と平面的な分布については、
0:56:27	41 ページを、すいません。お願いいたしますが、
0:56:35	1.3. 一章は左で、先ほど説明した通りで、コア観察によって幅広に認定しているところで、それを今回右の
0:56:44	1003. 二章の②③については詳細分析を行ったと。
0:56:49	平面的な分布では、C T 画像や放射性炭素年代によって、
0:56:54	層相の連続性や年代の連続性、
0:56:57	といったところから
0:56:59	海、
0:57:01	三木、ミウラにあるイベント堆積物、起点とするイベント堆積物から連続するかどうかというところを、この詳細にやっていると。③の供給元については、
0:57:12	確実に海、海というものが入ってるものについては、まず海起源と、
0:57:17	2 として、それ以外、
0:57:20	海起源は否定できないもの。
0:57:22	として、
0:57:23	海起源を否定できないものを海起源とみなしていたものについては強い N - S 分析によって、その海陸期限を判断した結果海という積極的な証拠が見つからず、陸自、
0:57:34	六義園の領域にプロットされたということを確認したと。
0:57:39	そういった観点から今回その海というのが行くというような評価に変わってございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:44	なのでちょっと昨日、1.3. 一章で海と書いているのは各自、丸と三角み たいなものがある、あるということで、確実に海だということと、
0:57:55	否定できないから海だとした部分があると、そこを今回、きちんと分析 して調べてあげたというところが、
0:58:04	説明になります。以上です。
0:58:09	はい。規制庁の甲斐です分かん。41 ページ。
0:58:14	でいうと平面的な分布と供給元の、合わせて、マルカバツかを判断。
0:58:22	ですねその辺りがうん。
0:58:24	ぱっと見海って書いてたのが、
0:58:27	どう変わったのかっていうの表だけじゃわかりづらいんですけどそう、 そういう評価だということで、
0:58:34	確認しました。で、
0:58:36	平面的な分布の方なんですけれども、
0:58:40	これC T 観察、帯磁率測定放射性炭素年代測定っていうのが付け加わっ て、
0:58:48	連続性有賀。
0:58:50	何か錬磨平面的な分布ありがなしに、
0:58:54	変わってるんですが、
0:58:56	C T っていうのは
0:58:58	今回示してあって何となくはわかるんですけど、
0:59:03	対立測定とか、放射性炭素年代分析っていうのは、
0:59:09	この平面的な分布で、
0:59:13	ちょっとね、
0:59:14	うん。
0:59:15	どう、どうこう生かされてるのかっていうのがこう見てってなかなか、
0:59:20	わからなかったんですが、例えば、
0:59:27	26 ページとか、
0:59:31	これが詳細な平面的な分布なんでしょう、ご検討だと思うんですけど。
0:59:37	帯磁率っていうのはここで何かこう、どういうふうにか生きてきてる のかっていうのをちょっと、
0:59:44	教えていただきたいんですが。
0:59:47	中部電力西村でございます。
0:59:49	26 ページは帯磁率測定結果を並べてございますがその記載としては、27 ページの1 ポツ目に記載してございます。で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:00	こちら2分の2、敷地東側ちょっと数が多いので、2分の1と2分の2に分けて記載してございますが、
1:00:07	帯磁率の結果としては、伊井さんの②に顕著な変化が見られず、またその他の地層においても、
1:00:13	顕著な変化は見られなかったことから、平面的な分布に関する評価には用いないこととしたと。
1:00:19	そして帯磁率測定はもうやってみたものの、
1:00:22	連続性を確認、
1:00:25	そもそも起点とするところで、明瞭な
1:00:28	変化が見られず、それを連続性で用いることは、しなかったといったことを記載してございます。
1:00:35	で、
1:00:35	ふた衛藤。
1:00:37	平面的な分布でその放射性炭素年代はどう使われてるんだって話につきましては、
1:00:42	敷地東側であれば、28ページに示してございます。
1:00:47	こちらは起点とする、伊井さんの②、右下のグラフで四角青の四角で囲んでございますがこの基点の、
1:00:56	堆積年代というところを、
1:00:58	一つの基準として、その他のイベント堆積物の堆積年代が重なるが笠名笠名らないかといった、
1:01:05	判断をしてございます。
1:01:07	で、C T画像に、
1:01:09	によるその層相の変化の連続性と放射性炭素年代による堆積年代の連続性と、この二つをもって平面的な分布に関する検討を実施してございます。
1:01:20	一応、平面的な分布に関する検討については、説明は以上です。
1:01:27	はい。規制庁のカイダです。アホわかりましたじゃ。そうですねC T
1:01:33	帯磁率はやったけどわかんなかった。
1:01:37	使えなかったので、
1:01:38	主にはし、
1:01:40	放射性炭素の年代で、
1:01:44	層準を特定して、
1:01:46	言ってみればC Tでよく観察したら、
1:01:50	おんなじようなやつがあるかないかっていうので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:52	絞り込んでいったと。
1:01:54	いう点で
1:01:57	そういう説明だということは、事実関係わかりました。
1:02:01	で、
1:02:01	さらにちょっともう一つ確認なんですけれども放射性炭素年代測定で、
1:02:08	同じような層準だっているところなんですけれども、
1:02:12	調べていって連続性がないということなんです、
1:02:18	例えばその敷地東側で、
1:02:22	29 ページで、これ金
1:02:26	前回か前々回、前回ぐらいから付け加わったページだと思うんですけれども、
1:02:33	ここでまああの、伊井さんと同じ堆積年代と思われる。
1:02:39	堆積物の比較ということで、また 29 ページに出てきてるんですが、
1:02:45	さっきの 26 ページとか 27 ページっていうのは、
1:02:51	放射性炭素年代測定の結果を使ったっていうことは言いつつも、別の時代も比較して、
1:02:59	いる、いたという層相、20、
1:03:02	9 ページとの関係というか、
1:03:05	今の放射性炭素年代測定結果が、
1:03:09	二十六、七では使われてるんだけどまた 29 みたいなのが、
1:03:14	えっと、
1:03:15	そこの関係ちょっともう一度教えていただきたいんですけれども。
1:03:20	そう聞こえいただきたいんですけど。
1:03:31	中部電力西村でございます。
1:03:34	2627 ページで、まず、そもそもこの詳細分析の検討対象としては、1.3 章で 1.3. 一章で、
1:03:45	まず認定したイベント堆積物といったところをまず対象にしてございます。
1:03:50	そのイベント堆積物についても、
1:03:53	層準が異なってるものがある、特に連続しているものとして、風雪直下のイベント堆積物が確認されていると。
1:04:01	何で、D1003. 一章ではその不精査直下のイベント堆積物を連続するものとして認定していたと。
1:04:08	それに対して今回詳細分析をやって細かく見ていきましたと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:12	そのブースショックという層準で連続するとしていたものについて本当にちゃんと連続するのかと検討したのがこの放射性炭素年代を使った、
1:04:21	検討でございます。
1:04:23	その結果、
1:04:26	敷地の東側であれば 28 ページですが、
1:04:29	グラフの下にさらにちょっと表をつけてございますが、
1:04:34	青色が真木店の伊井さんの②と。
1:04:37	堆積年齢が重なっているものと、
1:04:40	されてるもので、
1:04:41	黄土色で示してるものが、伊井さんの②とは、堆積年代が異なるよと。
1:04:47	なった地層です。これらについては、年代が違うということで終わらせずに、その年代が重なるであろう地層についても、伊井さんの②と比べて違うんだということを示したのが次の 29 ページでございます。
1:05:03	はい。で、
1:05:06	大体かさ、年代が重なるであろうところをまた C T とコア観察を並べて、やっぱり
1:05:11	層相は違うよねという確認をしているのが 29 ページになります。
1:05:17	ご質問の意図に合った答えになっていたかわかりませんがちょっと以上です。
1:05:23	規制庁の甲斐ですがわかりましたで二十六、七はまずは、
1:05:28	イベント堆積物、
1:05:32	続くであろうと思ってたのを見ていって、
1:05:35	放射性炭素年代も見ましたと。
1:05:39	29 は
1:05:44	想定される層準を比較しましたというところで、
1:05:49	29 ページは、
1:05:52	飛び飛びになってるのはこれは何なんのかちょっと教えていただきます 37026 で、
1:05:59	それまでの、
1:06:01	2627 ページは、
1:06:04	もっといっぱいあるんですけども 29 ページに行ったときに、その全部の地層、全部のボーリング孔の同じような時代を、
1:06:14	を、
1:06:15	並べるんじゃないくて飛び飛びになってるのはこれは何、なぜかっていうのちょっと、これ敷地東だけど、西も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:23	多分そういった状況かと思うんですけどこれは
1:06:26	どういう違いなのか教えてください。
1:06:29	中部電力西村でございます。
1:06:31	28 ページを再度お願いいたします。
1:06:36	この放射性炭素年齢によって、伊井さんの②とその基底のイベント堆積物と堆積年代を重ねないと。
1:06:45	したものを、基本的には、
1:06:48	次の 29 ページには持って行ってございます。なので
1:06:53	このイベント堆積、基本的にイベント堆積物は 27 ページの C T 画像で並べ並べていて、これらについては、もう堆積年代がほぼほぼ同じと考えられていて、
1:07:06	それについては、この 27 ページで、
1:07:08	確認はできると。
1:07:10	で、この年代が重ならない。
1:07:13	ところについてはその年代が概ね同じっていうところをきちんとまだ比べられてないのでそれを 29 ページに比べたため、
1:07:22	伊井さんの②と堆積年代が重ならないだろうとしたところを、
1:07:27	29 ページ補足的に示したと、一部、敷地の
1:07:32	7 については、放射性炭素年代で、一部は、その伊井さんの②と堆積年代っていうのが重なるだろうとこの左、ちょっと 29 ページの左上の、
1:07:42	グラフで見えていただきたいんですけど。
1:07:45	槇店の伊井さんの②と敷地の 7 の①っていうところは、一部、
1:07:50	重なっているんだけど、
1:07:52	重ならない。
1:07:54	実際、年代が違う可能性があるとして飯野の①が伊井さんの②よりも、若い堆積物の可能性もあるということ踏まえて、それよりも下の地層も一応並べて示して、
1:08:05	いるといったことでこの地層の、すま選定を行って、調べ並べて示してございます。
1:08:15	はい。規制庁の甲斐ですがわかりました
1:08:18	イベント堆積物だけを比較していくとずれている。
1:08:22	年代がずれているものだけを抽出して、それで並べたということかなと思います。
1:08:30	そうであればですねちょっと見やすさという観点、なるんですけども、
1:08:36	すでに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:38	検討したからっていうこ、二十六、七で出てきてはいるんですけども、間を見比べながら、また 29 で見ないといけないので、
1:08:49	ちょっとこれも
1:08:51	1 並びで示していただいて、
1:08:57	資料としてはそういった方が見やすいかなと思うので、
1:09:00	比木東西ともに、
1:09:03	飛び飛びじゃなくて、同じ時代なものをずっとこう並べた形で示して 1、
1:09:10	おいていただきたいんですけども。
1:09:12	それは、
1:09:14	よろしいですか。
1:09:17	結局、数ページ
1:09:23	中部電力久松です。
1:09:27	2627 ページのうち、この三つについてちょっとずらして示すようにということだとは思んですけど、結局
1:09:37	数ページにわたって 1 ページには収まらないので、結局こう、
1:09:42	何ページかこうぺらぺらして見ることになるんですけどそれでもよろしいでしょうか。それか、小さくして並べた方がいいのか、どういうふうを確認されたいか。
1:09:53	ご趣旨を教えてください。
1:09:57	はい。規制庁カイダです
1:09:59	このページはずれるのは、
1:10:02	ずれるっていうか複数ページにわたっていくのはいいんですけども、この 2627 ですでに、
1:10:13	出てきてはいるんですけども、
1:10:16	それを 29 ページの図と比較してみたときに、やっぱりこう、
1:10:20	1 例、一連のものとして見ていきたいんですけども
1:10:25	9 ページに渡ったとしても、ハシの方から見ていけば、ずっとその部分を見ていけば、比較対象できるような形で見ようと思うと、
1:10:34	また 27 とか 26 に戻って 29 を見るよりも、その 2930 とかなってても、一連で見ていきたいというそういった、その方が見やすいということで、そういった趣旨です。
1:10:48	はい。中部電力久松です。承知しました。2627 のうち、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:54	16127 を、張り替えるということで多分できます。そういうことで多分、見やすくなると思いますので、そのような図を用意させていただきます。
1:11:05	以上です。
1:11:08	規制庁の甲斐です。わかりました。今おっしゃったように何個か5上下にずらすっていう形で、していただければ見やすくなると思いますのでよろしくお願いします。
1:11:17	私から以上です。
1:11:23	いいですか。
1:11:25	規制庁のマツスエです。一つだけ確認させてください。
1:11:29	カーボンフォーティーン校正曲線んと、これは $\Sigma$ ですか $\Sigma$ ですか。
1:11:38	中部電力西村でございます。こちらに示しているのはすべて $ \sigma$ の値を示してございます。
1:11:46	曲線は、
1:11:50	すいません、中部電力にします。あと、音が飛んでしまって、再度お聞きしてもよろしいでしょうか。
1:11:57	キャリブレーションの構成の根拠の、
1:12:04	年代っちゅうか、
1:12:08	そこまではわかりませんか。
1:12:13	若菜君もいいです。通 $\Sigma$ っていうことどっかに、
1:12:17	記載しておいてください。
1:12:21	中部電力西村でございます。承知いたしました。
1:12:30	サグチですいません細かいことなんですけど、ちょっとこれ教えていただきたいんですけど、今のちょっと関連して、
1:12:36	この構成程度、どういう何か方法っていうのが手法で用いられてる。
1:12:41	かってわかります。
1:12:56	中部電力西村でございます。
1:12:58	少々お待ちますちょっと資料、今、
1:13:45	中部電力に来てください。ちょっと今資料を探してございますが、
1:13:50	ちょっと確認して次回の資料には反映したいと思ってございます。
1:13:56	はい。すいませんあんまり大したことじゃないかもしれないんで、ここは特に、
1:14:03	こだわるつもりはないんですけど、あと、ごめんなさい教えて、やっぱりこれも教えていただきたいんですけど。
1:14:13	10、14 ページとかがいいかなあ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:14:23	15 ページでもいいんですけど、結局なんか詳細調査でいろいろ、しかも分析で、今回、そのCN-S分析って、
1:14:34	当然追加されているんですけど、
1:14:37	何かこのほかにもいろいろこう分析の、
1:14:41	方法って多分あると思うんですけど、
1:14:44	なぜこのCN-S分析っていうのを、
1:14:49	選ばれたのかっていうのをちょっと教えていただきたいのと、
1:14:54	ちょっと関連して、
1:14:56	33 ページの、
1:14:59	この表の下に*の1で、
1:15:03	何かれきはとかって書いてあるんですけどこれってちょっとど、どういうことなのか。
1:15:09	ていうのを教えてください。
1:15:16	中部電力西村でございます。まずGNS分析をなぜ使おうとしたのかというところについては、
1:15:23	34 ペイジー
1:15:27	でお願いいたします。まずは島根井の選考の際、先行審査で実績があったことと、
1:15:37	木村ほか 2011 示せるように指名されるような津波堆積物、
1:15:42	において分析した事例があったことから、CN分析っていうのは、適用を行おうというところで、
1:15:50	こうなっております。33 ページのアスタリスクの1で、歴はといった話は、
1:15:58	す。
1:15:59	亀井他 2002 に通し書かれてございますが、
1:16:06	歴やソリュな堆積物っていうのは、
1:16:12	区域が多いというところから有機炭素や地質と医療等を、もう本当流出してしまうということから保存されないということから、歴っていうのは、
1:16:25	適用の範囲ではないねというところを書かれてございましてで、
1:16:30	シルト分について測定するというのが基本となっております。
1:16:37	はい。佐口です。聞きたかったのは、
1:16:44	一つ目は当然その島根とかっていう先行サイトでされてる方からって、
1:16:50	いうお答えだったと思うんですけど、じゃあ逆に言うと島根って、このCN-Sだけでやってるのかっていうな事ことと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:59	あと、
1:17:00	33 ページっていうのは、このアスタリスクっていうのは結局この、
1:17:06	3点ありますよね2位①-1と、3-024の②っていうところでアスタリスクがついてるんですけど、結局ここでは
1:17:16	CこのCN-S分析っていうのが、
1:17:20	何、何て言うんすかね。できないっていうことをおっしゃりたいのか。
1:17:24	というそういう確認なんですけど。
1:17:34	すいません中部電力の根本です。真崎さん、最初におっしゃったなぜえっと今回CMS分析を、
1:17:41	やったかっていうところに関連してなんですけれども、
1:17:46	先ほど西村から回答がありましたように、
1:17:50	砂れき層だと強いN-S分析、やれないとかですね、やっても正しい値が出ないっていうのが、一般的に言われてる手法です。で、それが何で浜岡で津波堆積物調査にやるにあたって、
1:18:04	CAMSやったかというところをちょっと関連してまして。
1:18:08	浜岡のイベント堆積物って我々今まで認定してたのがですね全部その泥層のレース堆積物の中にある。
1:18:15	提出のもの。
1:18:18	イベント堆積物言ってるもの全部数のものを見てたと。
1:18:22	本来津波堆積物、砂田とかそういったものを見るのが一般的なんですけど泥層の中の泥層を見るということで、
1:18:29	非常に幕別それを精査するのは難しいという中で、
1:18:33	どれだけやはり泥層だと、何が一番わかるかっていうことを考えまして、
1:18:39	CAMS分析、有機物だったり、そこに含まれるような量だとかが、
1:18:46	たくさん残るのが泥層の特徴だということも踏まえてCMSを適用したと。
1:18:51	当然島根の事例なんかを見てるんですけども、
1:18:54	マティス堆積物中の道路のイベント堆積物を見るのに一番適した手法が強いN-Sだということで、
1:19:00	今回、
1:19:03	この分析所を選んだのが、李須磨それがですねCS部付を選んだ理由です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:10	はい、佐口です。わかりましたありがとうございます。ただそれって多分どこにもなくて、なんでじゃあこのCMSって選んだのというところですね、今だからそういう。
1:19:21	ことがあって、このサイトではこのCN-S分析っていうのが、適切なんだよということがですね、多分、
1:19:29	最初の方、先ほど、
1:19:31	言ったその15ページとか、
1:19:35	その辺りって多分なくて、
1:19:37	なのでそこはちょっとわかるようにその記載をしていただければと。
1:19:42	思いますというのとちょっと関連して、なぜその、じゃあしましまねっていうお話があったんで島根も見ると、当然CNせ、他もやっていて、
1:19:53	多分、
1:19:55	いくつか代表的なもの、特にこの津波堆積物調査で、当然よくされてるの幾つかあると思うんですけど、その一つがですね、
1:20:08	67ページにちらっと書いてあるんですけど、
1:20:12	この一番下のアスタリスクの2ですか。
1:20:15	珪藻分析って当然、
1:20:18	よくやられているものですね。で、
1:20:21	珪藻分析をしたんだけど、なんかあんまり、
1:20:26	結果がえられなかったよ。つまり、下源泉の下海成所と同じ種が含まれていたとか、そういうんですけどこれ、ちなみに、
1:20:36	どの地点っていうのかどこでされたんですかね。
1:20:45	中部電力さん末です。どの地点というのは、各代替のボーリング。
1:20:54	後は、
1:20:55	や、
1:20:57	ております。
1:21:01	やったけれども、ということは、下一部資料じゃなくてこれほとんどっていうことなんですかっていうのと、敷地が、
1:21:11	例えば敷地だけやったのか外も聞くわとか、他のところも含めて周辺も含めて、何かそういう、
1:21:18	検討だけは一応やってみただけど何かどうも駄目だったっていうのかちょっとそこが、
1:21:24	知りたい。
1:21:25	ので教えてくださいっていうことなんですけど。
1:21:29	教諭。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:36	中部電力の久松です。菊川。
1:21:39	と、あと敷地でやっております。
1:21:44	津波堆積物の前後でもやっております、やっぱり特に敷地の方では、相良層の種といいますか
1:21:54	浅原層で含まれる種が、現世でも同じような種が出ておましてそういったものが、区別がつかないということで、
1:22:05	ここではお示ししておりませんが
1:22:08	ここ、67ページに書いてある通りで、
1:22:12	結果を用いてないということでございます。
1:22:15	はい。規制庁佐口です。わかりました。ただちょっと今、文章見て、何かこれ、やっぱりおかしいですね。一部資料においてと言いながら、多くの資料でっていうのは、
1:22:27	ちょっとどうなのかなと思ったので、そこは、
1:22:31	ちょっともうちょっとわかるように、書くなりですね、結局、
1:22:35	この
1:22:38	地点なのか、地域なのかわからないんですけど、
1:22:41	いずれにしても何かあまりよくなかったよということは理解したので、ちょっと文章だけ何かおかしいかなと思ったんでそこだけは修正するなりしてください。
1:22:53	はい、承知しました。
1:23:09	規制庁ニシキですけども、規制庁はから他確認することはございますか。
1:23:26	中部電力久松ですが先ほどの年代分析の構成について確認できましたので今よろしいでしょうか。
1:23:35	田井先生、大丈夫です教えてください。はい。厚生年代の計算にはですね、データベースの方は、
1:23:44	イントかる09のデータベース使ってます、
1:23:48	更生プログラムの方はボックスカーの4.1を使っております。
1:23:56	以上です。
1:23:57	はい。
1:23:58	佐口です。わかりました楠原の4.1ということで、理解しましたありがとうございます。
1:24:36	規制庁の山下といいます。少しちょっと教えてください先ほどから出てくるN-S分析のことなんですけども、
1:24:45	今回の海起源の土砂取期限、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:50	淡水性土砂起源のもので分けてらっしゃるんですが、
1:24:55	その淡水性のものが、津波堆積物になるってということはないっていうふうに考えてもよろしいんでしょうか。
1:25:09	或いは、そう考えざるをえない。
1:25:12	データも限りがあるからってところでしょうか。
1:25:16	中部電力の久松でございます。ここの地形として前面に内湾がありましてそこから上がってくるということですので、前面にですね、
1:25:29	湖があったり、池があったりということであれば淡水の物が来るというものもあるんですけど全面一応海ですので、
1:25:38	それが上がってくるかどうかという確認をしているということになります。以上です。
1:25:43	はい、わかりましたありがとうございます。あともう1点なんですけども、堆積当時の恐慌ってところがあったと思うんですが、
1:25:50	その基準ってというのはどのように決められてるかとか、どこか記載があったりしてしましたら教えてください。
1:26:00	中部電力西村でございます。縄文改進黨期の海面
1:26:05	の元コードの評価ということで、77ページをご覧ください。
1:26:17	こちらはですね敷地周辺における常務会審議の官民の変更と評価ということで記載してございますが、
1:26:24	左に示しているのが、左の表で示してるのが清杉山他1988において、
1:26:32	まとめられている、
1:26:35	海成層の上限高度等年代値ということで、記載してございます。
1:26:39	こちらをもとに、は、
1:26:43	ないのか、そうで、
1:26:45	こちらを基に牧区定時であれば、海拔5.1メートル、箴川低地であれば5.5から6メートルと。
1:26:52	いった。
1:26:53	値が出ていると、し、敷地につきましてはこの二つの値から、もう大体現標高5メートル程度ということで、
1:27:01	評価してございます。
1:27:03	はい、わかりましたありがとうございます。ということは今回のその津波堆積物の年代測定についてもこの当時、この時期のもの、
1:27:11	がすべて対象だったということでもよろしかったでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:16	中部電力西村でございますすみませんちょっと音が聞こえづらくて、再度申し訳ございませんがお願いします。今回調査された分析された津波堆積物、イベント堆積物、
1:27:28	の年代測定の結果も、常務会審の時の
1:27:33	この時代の
1:27:36	年代としては整合してるっていうところでよろしいでしょうか。
1:27:40	中部電力西村でございます。はい、おっしゃる通りでございます。
1:27:44	一応そちらの結果を示しているのが、
1:27:51	ね。
1:27:59	すみません。103 ページは 104 ページで、
1:28:03	敷地西側の海起源イベント堆積物と評価津波堆積物を最終的に評価したものと、
1:28:09	敷地東側の津波堆積物と評価したものの結果を記載してございます。
1:28:14	敷地西側の堆積物は大体 5500 から 6500 年前ごろと。
1:28:19	で、
1:28:21	敷地東側の
1:28:23	津波堆積物については 6000 から 6700 年前ごろといった、結果がえられていて、
1:28:29	縄文改進黨の堆積物であるということを確認してございます。
1:28:33	以上です。ありがとうございました。
1:28:45	規制庁ニシキですけども、他規制庁側から確認する内容はございませんか。
1:28:55	はい。
1:28:56	そしたら、何かもし何かあれば、後程ということで、もう 1 件、今日ヒアリングする内容がありますので、敷地の地質地質構造の方についての説明の方をお願いいたします。
1:29:10	ニシキさんすみません。すみませんちょっとどうぞ。
1:29:13	杉野ですけど。
1:29:17	ちょっと、
1:29:18	もともと、
1:29:22	大分さかのぼる話になるのかもしれないんですけど、11 ページ。
1:29:27	が、追加ボーリング調査地点ということで、
1:29:33	もともとボーリングしたところと追加したところが全部載ってる絵だと思うんですけど。
1:29:41	このボーリング地点を決めた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:46	根拠というか経緯というか、
1:29:51	この
1:29:52	今、まるで点で赤丸で囲ってある、この場所、
1:29:58	以外にも、このあいだのところも何か、
1:30:03	可能であればこういったところも調査入ってればいいなっていう思いで、聞くんですけども、どうやってこの
1:30:12	ボーリング地点を決めたのかっていうのを教えていただきたいんですが。
1:30:18	中部電力西村でございます。前回 12 月の審査会合では、敷地西側であれば、イベント堆積物が一番多くで見つかったのが、敷地の 18 でした。で、
1:30:31	そちらについては敷地 19 人いたようなものがあるから、ここについてはきちんと調べて欲しいということで、コメントをいただいております。
1:30:39	で、
1:30:40	でしたので 78 が、
1:30:44	明日、
1:30:47	推薦書。
1:31:11	追加ボーリングの、なんでここに選定したのかというところですいませんちょっと。
1:31:16	途切れてしまったんですが、
1:31:19	先ほど言った通りで 78 が、イベント堆積物位が一番多くて確認されていたところでしたのでまず、そこよりも高いところにイベント堆積物がないよねというところを確認するため、
1:31:32	敷地 2021 っていうのを追加でボーリングしたと。その結果、
1:31:36	イベント堆積物は確認されなかったというところ。
1:31:39	ところを確認しました。
1:31:40	東側も同じで、一番高いところであれば敷地 13 に見つかっていて、一番奥では 77 人。
1:31:48	イベント堆積物が見つかってございました。
1:31:51	ですのでこの、これ以上、まずはないよね。
1:31:54	イベント堆積物がないということを確認するために、7-22、24、23 と、面的にイベント堆積物の分布を抑えるように、
1:32:02	追加ボーリングを実施したというのが経緯でございます。
1:32:07	規制庁の杉野です。ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:11	今のご説明は、追加ボーリングを、
1:32:16	ました。
1:32:18	追加案。
1:32:20	最初のボーリングがあって、こちらの方からのコメントを受けての追加の場所を決めるっていうところは、
1:32:28	理解したんですけども、
1:32:31	すいません、最初冒頭にそもそもっていう話を言ったのは、
1:32:38	この
1:32:40	破線の赤マル。
1:32:42	以外の、
1:32:43	場所では、現時点の、
1:32:47	地形では、
1:32:48	ボーリングできないとかそういう制約があって、
1:32:52	この敷地の中央辺りとかは、そもそも調査できないっていうそういう判断があったのかとかそういうところをお聞きしたかったんですけども。
1:33:04	はい。中部電力の久松です。
1:33:07	67 ページを見ていただきますとそもそもこれ、1.3 勝一章という、1.3. 一章ということで、
1:33:16	一番初めに調査をする目的といいますか、概要を書いているところで1 ポツ、1 としてボーリング調査時点ということを書いております。
1:33:27	当然式ちいないですので、
1:33:32	建設当時の調査も踏まえて、大体、地形はは、地形なり地質なりは把握しておりますのでその中で、
1:33:41	過去の海岸線や河口の1床環境の変遷を踏まえて綱、津波が認識しやすく、残りやすいだろうと。
1:33:50	残りやすい泥層が分布すると推定される地点を選んでいるということで、あとは、当然、既設の設備、ありますのでそういった設備と設備の関係とあとは、
1:34:02	礼装が残り、残っているだろうというところを把握して、地点を決めております。
1:34:09	それで
1:34:12	津波の遡上高を決めていかないといけないので、タニに沿って
1:34:19	標高が上がる方向に向かって順番に打っていった結果としてこの谷筋に沿ってですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:26	こういった断面といいますか、列でボーリング配置で調査をしていると。
1:34:34	ということでございます。
1:34:36	以上です。
1:34:38	規制庁の杉野です。ご説明ありがとうございました。
1:34:42	わかりました。はい。
1:34:48	規制庁佐口です。ちなみになんですけど教えていただきたいのは、当然、
1:34:54	敷地内ってたくさんボーリングされているわけで、
1:34:58	この11ページとか岩井にもうボーリング自体はあるんですけど、そういった敷地内のボーリングで今ここに示されているもの以外で、
1:35:08	例えば何か津波堆積物みたいなものがあるとかないとか、そんな確認とかってされてるんですけど。
1:35:23	中部電力久松です。この調査を委託する時に委託として
1:35:29	当然、過去の既往のボーリング調査結果も踏まえて調査地点等も検討しておりますので、当然過去のデータも踏まえてこれまで、
1:35:41	ご説明した結果ってのはな、
1:35:44	の結果がありますので、見ております。以上です。
1:35:51	はい。サグチですわかりましたので、基本的にその敷地内でボーリングもやってるんですけどそういうのも含めた上で、今少なくとも敷地内で見つかる
1:36:04	イベント堆積物っていうのは、この資料にあるものがすべてという、
1:36:10	ふうんと考えていいと、ということですよ。
1:36:14	はい、中部電力久松ですその通りで結構です。以上です。
1:36:25	規制庁の名倉です。
1:36:27	今その通りで結構ですっていう書いてあったんだけど、
1:36:31	ちゃんとそのプロセスをやったんですかって聞いてるんですけどそれはイエスということでしょうか。
1:36:42	中部電力の久松です。過去のデータを確認した上で、調査地点等、検討した上で、
1:36:50	津波堆積物かどうかという、
1:36:54	判断をして、これまで従来説明してきて、
1:36:58	きた資料ができておりますので、確認はしております。
1:37:04	結論だけお聞きしますが、
1:37:06	今までの敷地外の調査結果を総合しても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:10	津波堆積物として認定すべきものはここに挙げた地点しかない最終的な結論の時点引かないという、
1:37:19	それ以外はありませんということの判断をしているという理解でよろしいですか。
1:37:32	中部電力浜野でございます。そ
1:37:34	おっしゃる通りです。我々としては、全体を見渡して今回ご提示しているのが、敷地内で確認されている、イベント堆積物であるというふうに評価してございます。
1:38:01	規制庁ニシキですけども、津波堆積物に関してその他規制庁側から確認することはございますか。
1:38:18	はい。
1:38:18	じゃ、ひとまずはここで、津波堆積物の方の、
1:38:23	確認を終えて、次の敷地の地質地質構造について、
1:38:29	の説明の方をお願いいたします。
1:38:34	中部電力浜野でございます。それでは、敷地の地質地質構造コメント回答で、本日BF4地点の泥層の堆積年代評価に関する、
1:38:44	追加検討状況について資料まとめて参りましたので、ご説明させていただきます。およそ10分程度のご説明になりますよろしくをお願いいたします。
1:38:54	中部電力の森元です。資料をご説明させていただきます。右肩の番号が1235のものになります。
1:39:02	1ページをお願いします。
1:39:05	前回会合における説明内容を書いております。
1:39:08	BFの中の泥層の堆積年代ですけども、下に書いてある①②の評価からMIS5eだという評価をしておりました。
1:39:16	まず①ですけども、
1:39:18	BF4地点の泥層の調査結果から、泥層は海水が流入する生成環境で堆積したとしてしまして、そのような環境がいつかということで年代評価をしておりました。
1:39:31	愛知県名の流域過程と、海水準変動の関係から、BF8円のPF時点が海水面よりも低い時代というのがMIS5eもしくは、
1:39:40	5Cだと。
1:39:41	いう、そこが該当するんだと。
1:39:44	した上で、語彙において若井数名の常駐により静水環境が作り出されたのに対し、母子では、朝夕などの了解あったと考えられますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:56	木須が海上の層理のBF4地点の0層が堆積し得る時代というのは、故意だという説明をしていました。
1:40:04	次②ですけれども、今度は古谷泥層と対比の話です。
1:40:09	層相を古谷泥層と見比べてやりますと、BF4地点の泥層とBF1清野古谷泥層は、類似する一方で、
1:40:19	品位線古谷泥層とは異なると。ただそれは、堆積環境の差異によるものだという説明をしていました。
1:40:27	またですけれども、BF4地点から検出される花粉、これはごく微量で、微化石もほとんど検出されない、ないのに対しまして、比木2地点それからBF1地点には花粉だとか微化石が、
1:40:41	比較的多く検出される層準が見られておりました。ただこの違いは、
1:40:47	BF安政の泥層が、堆積した後に風化したものではないかという説明をしていました。
1:40:54	2ページがこういった説明に対して前回会合でいただいたコメントを表の左側。
1:41:03	それを受けた検討方針が右ということでまとめております。
1:41:08	まずコメントの方ですけれども、ナンバー1としておりますのが、
1:41:12	古谷泥層との対比にあたって、ポイントいくつかし、
1:41:18	ご指摘いただきましてその観点とともに、
1:41:21	観点を踏まえてですね整合のとれた説明をするようにというご指摘でございました。
1:41:27	観点ですけれども、1段下がって書いておりますが、上から順番にですが、
1:41:33	古谷泥層の体積市の中での位置付けを、BF4地点の位置付けを明確にしてください。
1:41:38	というところと、
1:41:40	根拠データがですね再堆積でないという説明を補強してくださいという観点。
1:41:46	それから、BF4地点から化石が出にくい要因これを風化としておりましたが、そうするのであれば他の分析と合わせて、整合した説明をすること。
1:41:55	いうご指摘もいただいております。
1:41:58	力の分関井については石渡委員からもご指摘いただきまして複数のパラメータで検討してくださいという内容をいただいております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:07	またナンバー2のコメントの方ですけれども、より新しい地層との違いを示して、堆積年代の説明性向上を図るようというご指摘もいただいております。
1:42:21	これはコメント回答にあたってですけれども、このスライドの一番上の箱書きの2ポツの部分になりますが、今回ですね改めてこの地域の地形地質を俯瞰的に把握しようということで、
1:42:35	地形層状解析を実施しております。
1:42:38	まずその結果の概要からご説明いたしますので5ページをお願いいたします。
1:42:46	5ページがですね古谷泥層の敷地転倒我々がしている日比地点を通る南北方向の地形とは断面図になります。
1:42:55	B F 4 地点付近の標高約 50 メートルという、
1:43:00	辺りはですね文献に示されております古谷泥層と、相良層の不整合面、
1:43:07	赤の横瀬で示しているのが、その不整合面ですけれども、それと概ね同標高になります。
1:43:14	またですね B F 4 地点の基盤というのが、オレンジで書いております笠名面より低くて、紫色の御前崎面より行為に当たると。
1:43:23	ということで、この地域に広域的に分布する地層のうち、B F 4 地点の泥層それからその同標高にですね礫層がございますが、
1:43:35	そういった泥層礫層に対比される可能性が高い第 4 紀層というのは、古谷泥層の株価笠名礫層だと。
1:43:43	いうふうに地形的にはいえるものと考えております。
1:43:47	こういった地形の解析結果も踏まえましてまた 2 ページの方方針を記載したページに戻っていただきまして、
1:43:55	表の右側にですね検討方針を示しております。
1:44:01	これに基づいて追加調査検討をやっているわけなんですけれども、まずコメントナンバーの一番、
1:44:08	古谷泥層との対比に当たってですが、
1:44:13	一つ目と二つ目の観点の部分、また井関市における位置付けだとか、
1:44:18	堆積環境を推定する上での根拠データの観点になりますが、
1:44:24	この部分の方針としては、B F 4 地点の泥層の堆積環境の推定にあたっては、従来のような B F 4 地点単体の調査結果だけではなくて、
1:44:34	12 地点を中心とした古谷泥層の調査結果等を踏まえた考察を行っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:41	この引地清野古谷泥層ですけれども、従来主にボーリングコアからですね観察だとか分析を行っていましたが、
1:44:49	株数付近の層準について詳細に確認しようということで、露頭観察を今回追加実施しております。
1:44:58	で、その下の三つ目の方で風化とするならという部分ですけれども、今回はですね風化の可能性に加えて非化石体に該当する可能性、
1:45:07	これもあわせてですね検討を行っております。
1:45:11	最後四つ目の観点できる分析については、画像解析を使いながらですね複数のパラメータでの検討を行って、
1:45:18	おります。
1:45:20	ここで今ご説明した未つつうの内容、近隣の古谷泥層を詳細に見ますという話と、
1:45:28	貧化石体の可能性についても検討しますという部分について、もう少し詳細にスライドの6ページを使ってご説明します。
1:45:38	6ページがですね比木地点の古谷泥層の最下部のコアになります。
1:45:44	文献の内容ですけれども、文献ではですね古谷泥層を下位から、
1:45:52	河川層から始まって、小原イマイ積層内湾、提訴は奥寺層に分類。
1:45:59	してありまして堆積環境が
1:46:02	低海水準期にできたタニが、開始に伴って、
1:46:06	浸水したおぼれ谷から、湾口バリア、陸側の内湾の底になって、さらには奥野△変化したと。
1:46:15	されております。
1:46:16	日にちでの古谷泥層のコアが文献の、この堆積層の分類とどう対応するのかという目で見てみますと、
1:46:23	最下部のところはですね、
1:46:27	礫層が目立っておりますが、本当の最下部のところはですねさ質シルト層が10センチほどございまして、その上に礫層がたまっていると。
1:46:36	なので、最下部というのは下線そうではなくて、もう開始に伴うホルダーに枚数に当たる可能性が。
1:46:43	考えられます。
1:46:46	またですねこのボイラーに堆積層と言われるところですが、
1:46:51	貝化石だとか、生物擾乱が見られないことから、生物の生息に適さない改善的な環境だったとしている文献もございまして。
1:47:03	この比木のボーリングを見てやってもですね小さい字で微化石のデータ数等も書いておりますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:12	微化石ほとんど出ておりませんで、
1:47:15	花粉についてもですね、礫層条例では、ピンポイントで少ない層準もあるという結果です。
1:47:22	こういった企業データの精査内容も含めまして、踏まえまして、青字で書いておりますが、
1:47:28	引地線の古谷泥層株層準を詳細に確認しようということで露頭調査を、今回追加で行っております。
1:47:38	で、BF4地点から花粉微化石が出にくい要因についても、
1:47:42	風化に加えて、そもそも貧化石体で少ないんじゃないかというその可能性についての検討を行っているところでございます。
1:47:52	ということで、ボーリングコアだけだとなかなか物が言えないので露頭も含めて詳細な調査を行っておりますしてその結果を次回ご説明させていただく予定でおります。
1:48:04	また2ページの方に戻っていただきましてコメントNo. 1の検討方針と、その内容については先ほど説明した通りですが次コメントNo. 2、
1:48:16	より新しい地層との違いについてですけれども、
1:48:21	先ほど地形学的にはですね笠名礫層に対比される可能性もあると、5cの堆積物に当たる可能性もあると。
1:48:28	この地形断面図で説明しましたが、
1:48:31	そこの対応を見るために、笠名礫層の模式的な露頭で調査を行いまして、BF4地点の泥層のような層準があるのかなのかというのを確認するとともに、
1:48:43	BF4地点を近傍に礫層が3地点ありますが、それが笠名礫層に当たるんじゃないかということで確認を行っております。
1:48:53	またここまではですね広域的に分布する古谷泥層だとか、笠名礫層と一般的に知られた地層との比較について述べましたけれども、
1:49:02	この敷地の中にはですね先ほど堆積物でも、
1:49:06	お話ししましたが、陸域に泥層がありましてこういった局所的に分布するディス堆積物とどこが違うんだと。
1:49:13	いうところについても説明していく予定でおります。
1:49:19	次3ページになりますが、今ご説明した内容をコメント回答に当たりまして、いろんな地点のですね泥層だとか礫層が出て参りますので、
1:49:29	調査地点と、あとこことここを比べる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:33	ということが、どのコメント回答に対応してるのかというのをここで整理しております。
1:49:38	基本的にはですね青の矢印、BF4地点の泥層と古谷泥層比べて、これがちゃんと対比できるんだということを説明していくわけですけども併せて、
1:49:48	赤い矢印、それこそ消去法的な説明になりますが、
1:49:53	新しい実装、笠名礫層だとか敷地のレース、
1:49:57	泥層、これとは違うという部分についても、コメントNo. 2への回答として対応させていただきます。
1:50:03	その中で、
1:50:04	その中でですね族で古谷泥層が分布するとされておりますBF2地点、この地層がどの年代の地層に対比されるのかについても説明予定であります。
1:50:17	最後、4ページになりますが、検討の進捗でございます。
1:50:24	基本的にですね必要な調査分析は終了しております、現在のデータの取りまとめと、資料化、それから並行してチェックをやっている段階でございます。
1:50:34	今のところですね6月中旬に説明予定とさせていただいております。
1:50:40	資料の説明は以上になります。
1:50:45	はい。規制庁のニシキです。説明ありがとうございました。
1:50:49	では規制庁の方から、規制庁側から確認をさせていただきたいということですが、どなたかありますか。
1:51:09	はい。規制庁佐口ですけども、確認というよりちょっと、
1:51:14	お願いが、
1:51:15	幾つかあるんですが、
1:51:17	ちょっとごめんなさいこれ管理官からの、
1:51:20	要望で、
1:51:22	ちょっとコメント一覧ですね2ページ目。
1:51:25	のところで、
1:51:27	1ページのところにあるんですけども、
1:51:30	前回の会合って、我々結構層相のところちょっと、
1:51:37	制水環境であったり、海水環境っていうのが、ちょっとはてなマークだよなって。
1:51:44	いうコメントを多分してると思うんですけど。
1:51:49	何かそこが見てとれないっていうことで、おそらくこの2ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:54	コメントNo. 1の、
1:51:57	最初のなんていう四角の中が多分それに相当するものだと思うんですけども、
1:52:03	それに対して、
1:52:06	改めて、例えばそのまた層相観察みたいなものをさらに深掘りするのかわかりたいところがちょっと見えないので、
1:52:15	そこをどう考えてるのかも含めてですね、ちょっとそこを資料に、何か反映をできるのであればしていただきたいですけど。
1:52:29	はい、中部電力の森本です。
1:52:33	おっしゃってる点、承知しておりますいづれ我々、深井から、ああいう地層にリワークの地層になったんだというところを、
1:52:45	申し上げてたんですが、やはりそこは違和感があると、何でああいう礫まじりフランスの礫まじりシルト、
1:52:53	になったのかというところをですね、今回は、BF4地点の層相、
1:53:00	もう一度しっかり整備するってのはもちろんそうなんですけれどもそのメカニズムの
1:53:05	古谷泥層の堆積比木地点の
1:53:09	調査結果なんかも使って、説明していく予定であります。
1:53:14	ちょっと記載の方はですね佐口さんおっしゃっていただいたように、
1:53:18	箱、ちっちゃい箱の一番上に、
1:53:22	込めたつもりなんですけどそのあたりは見づらくなってますので、
1:53:31	この
1:53:32	ご趣旨としてはですねBF4地点の堆積環境についてちゃんともう少し検討しなさいということかと。
1:53:39	思いますので、その辺りが読めるように、
1:53:43	工夫したいと思います。
1:53:46	はい。あくまでも想像観察っていうものに対してっていうことなので、そこが何か見えればいいかなとは思っています。で、
1:53:56	2ページで言えば、赤字でいろいろ検討方針のところ、
1:54:01	あのさ、書かれてるんですけど、ちょっと一番、何て言うんすかね。知りたいというのが重要なのは、
1:54:11	追加の
1:54:13	調査。
1:54:14	というのが当然あってですね。
1:54:17	幾つかあるんですけど、この露頭調査っていうのが何ヶ所かあって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:54:23	比木 2 地点等、
1:54:28	笠名域店。
1:54:30	でいいのかな。
1:54:31	多分それが 3 ページとかにいろいろあるんですけど、
1:54:36	今までだ出たことがあるような、当然比木 2 地点っていうのは、あると思いますし、
1:54:44	B F 4 地点付近のところで S T 1、T - 11、B F 2 っていうのも当然あると思うんですけど、これ資料としても、
1:54:53	多分出てると思うんですけど、
1:54:55	まずそこあたりですね、既出の
1:54:59	何ですかね。
1:55:00	地点か、新しく全く新しい地点なのかっていうのがちょっとわかるようにしていただきたいのと、
1:55:08	あと、当然その露頭調査なので、結果は当然今後出していただくとして、どういう露頭かぐらいの写真じゃないんですけど、以前
1:55:21	B F 4 地点の追加の
1:55:25	調査の時にもう
1:55:27	何ていうんすかね途中のか、過程というのか、そういうところでこうい
1:55:33	う
1:55:33	さらに拡張しましたよとかそういう写真は多分出していただいていると思うので、
1:55:39	こういう露頭を調査しましたぐらいはちょっと、
1:55:44	出していただければと思うんですけど。
1:55:50	ちょっと、2 点ぐらい言いましたけど、
1:55:53	そこよろしいですかね。
1:55:56	はい。森本です。まず最初おっしゃった点で、
1:56:01	確認させていただきたい点は B L S の層相観察の話のところは、
1:56:08	層相観察自体を、今回特に我々としては改めるつもりはないんですけども層相観察から推定される。
1:56:16	B F 4 地点の堆積環境、これを以前申し上げていたような深い海だとか、そういったところはですね比木 2、
1:56:24	E だとか、分析、調査結果を使って、少し表現を改めていくと。
1:56:31	あくまで見直すのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:33	層相観察記録から推定される堆積環境だということを、がわかるように、今回の資料も改めさせていただきたいと思います。それでよろしいですかということを一応確認させていただきたいのと、
1:56:48	あと
1:56:49	今回の調査地点が新規のどれが新規でどれが以前のものかというのがわかるように、
1:56:57	対応させていただきます。
1:56:58	露頭写真についても承知しました追加で調査しているところは、写真を示させていただきます。
1:57:07	写真を示す露頭に関しては、追加のところだけでいいのか、既存のものも含めて示させていただいた方がいいのか、どちらの方がよろしいでしょうか。すいませんちょっと2点だけ。
1:57:19	確認です。
1:57:21	規制庁佐口ですけど、まず1点目はわかりました。2点目なんですけど露頭写真ですけど、当然出せるのであればたくさん出していただきたいんですけど、かといってですね、
1:57:32	それーが作業が結局多くなって、時間がかかっちゃうんだったら最低限新しいところだけでいいのでこれまで、
1:57:42	出てるような時点っていうのは、必要ないと言えないんですけど、というのと、
1:57:47	これ、ごめんなさい最初に言っといた方がよかったかもしれないですね、会合としては一応来週10日を、今のところ予定してますので、ちょっとそれを、
1:57:59	念頭に置いてですね、それに間に合う程度で構いませんので、写真とかは追加をしていただきたいと思います。
1:58:10	森本です。承知いたしました。
1:58:13	追加させていただきます。
1:58:15	はい、佐口です。引き続き、2ページでごめんなさいこれ細かいことですけど、
1:58:23	画像解析。
1:58:24	多分、イメージjなのかなと思うんですけどこれ津波堆積物調査のところでも倒されたと思うんですけど、もしそうだったら、ちょっとそこがわかるように、括弧、括弧でもいいんですけど何か、
1:58:37	つけるなりをしていただくのと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:40	あと、同じ、そのあとに複数のパラメータによる検討てありますけど、このパラメータってのが何なのかっていうの例えば、もう現時点で、
1:58:52	これ、これだというのが、書けるのであればこのパラメータは何かっていうのも書いといていただきたいんですけど。
1:59:04	中部電力の梅本です。画像解析なんですけれども、イメージ今、
1:59:12	今回トライしたのが、イメージではなくてイメージで二次元になりますけれども、CT使って3次元的に、
1:59:20	円礫を
1:59:23	分析してやろうということで、チャレンジしましたので、その手法については、
1:59:29	記載するようにいたします。
1:59:31	パラメータについてもですねもともと球形度中心でご説明していたところを、
1:59:37	扁平率であったり、アスペクト比みたいなところも含めて、
1:59:42	検討しておりますので、その辺りもですね
1:59:49	書ける範囲でといいますか、検討してる内容を記載さし、具体的にもう少し記載させていただきます。
2:00:00	はい。サグチ規制庁サグチですけどもじゃお願いします。
2:00:04	私から以上です。
2:00:12	規制庁のカイダです。私もちょっと事実関係ちょっと確認させていただきたいのが、
2:00:20	6ページの
2:00:23	比木2地点のボーリングコアをこれから詳細に、
2:00:27	これも含めて詳細に、
2:00:31	検討されるということで、
2:00:34	ちょっとここに書いてある内容で、よくわからなかったのが、
2:00:39	ちょっと一番下のところに、こういう古谷泥層相良宗野氏、
2:00:45	この協会新藤。
2:00:48	今、結局この下に矢印が、なんていうか、
2:00:53	古谷泥層相良層という両矢印が書いてある。
2:00:58	ところと、
2:01:02	上で、その層相としてさ質シルト層の砂岩泥岩ゴソウ。
2:01:08	っていうのがあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:10	相良層と古谷泥層の境界っての今結局どっちなんなのかっていうのをまず確認したいんですけども。
2:01:19	はい中部電力の森本です。この図、右上にですね柱状図における自粛II区分、
2:01:28	ごめんなさい右上にですね柱状図の記載を転記したものを、
2:01:34	掲載しております。
2:01:36	実測分としてはですね 46.50 のところが、シルト層と、
2:01:44	砂岩泥岩 5 層の境界に当たるんですけども、
2:01:49	この 1 事例たの、切りの部分ですね、プレイヤー泥層としては、46.55 まで、
2:01:58	相良層としては 46.65 から、下からといいますか 65 より深いところということで、
2:02:07	一時観察者として、この
2:02:12	46.5 から 6 号の間まで、
2:02:17	のをさ管理課 5 層のところを、どっちつかずで、
2:02:24	評価、
2:02:26	をされていたというものです。
2:02:28	下は分析結果花粉をですね分析してるところの、
2:02:33	砂岩泥岩、
2:02:35	5 層の下からもですね、花粉が出てきましたので、
2:02:40	利息分としては、
2:02:45	砂岩泥岩細野域に入ってるんですけども、
2:02:48	地層区分の解釈として、今我々は 46.50 までが古谷泥層だとしているというもので、A カイダさんの御説、ご質問に対しての答えとしては、46.50 までを、
2:03:02	古谷泥層がたまった時代にたまった地層だという評価をしています。
2:03:09	はい。カイダです。
2:03:12	そうすると今、上の箱が来て、私もこの下の図を見たら今だったら、
2:03:18	えっとし、シルト層っぽいところが 25 センチ、
2:03:22	23 センチとか、
2:03:24	25 センチぐらいにも見えたんですけど、
2:03:30	10 センチ、
2:03:33	射出シルト層の厚さ 10 センチって書いてあるのは、だから、
2:03:37	今ここを、
2:03:40	示してある 46.4 から 5 までがさ質シルト層で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:45	下の間に 15 センチ部分ぐらいというのは、
2:03:49	どっちつかずなん。
2:03:51	そこの 10 センチは含ん 15 センチを含んでなくて上の 10 センチ部分だけのことを今、
2:03:56	おっしゃってるということでよろしいですか。
2:04:00	1 モリモトです左の左上の箱書きに書いてある内容で言ってる左室城戸層というのは
2:04:07	患者さんおっしゃってるように、
2:04:09	このコア写真で左室シルト層と太字で書いておりますところを、
2:04:14	さしております。
2:04:18	10 センチのところを行っているというもので、はい、カイダですわかりました。で、
2:04:23	今その下の方からも花粉が出てきたという話で、
2:04:28	前回の
2:04:31	花粉分析結果のデータとか見ると、
2:04:34	確かに比木 2 地点の一番下のところにビート結構たくさん花粉が出てる。
2:04:40	ような形の表示になってるんですけども、
2:04:45	それが、今おっしゃってるあざ 46.
2:04:50	6 とか 7 で出てきたところなのか、その
2:04:53	46.5 ぐらいのところの話なのか。
2:04:56	そう。
2:04:58	どっちなんでしょうか。
2:05:01	i P h o n e とです。最下部で出ている花粉というのは、
2:05:06	と 46.6。
2:05:09	僕から 6 号の間ですね
2:05:12	緑の矢印で花粉が 116 戸出てきましたよって示しているところの値が、
2:05:18	花粉がダイアグラムの最下部で跳ねているところに対応しております。
2:05:22	こういったですね、どこが、
2:05:25	どこまでが古屋層な古谷泥層なのとか、
2:05:30	どこまでがどっからが基盤なんだっていう、
2:05:33	ところをですねボーリングでこれ以上やっても、我々としてももちが明かないと思っておりますので、今回露頭で、
2:05:41	詳細に確認をしているというものでございます。
2:05:48	調査の位置付けはそのようなイメージです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:51	以上です。
2:05:54	はい。規制庁のカイダです。
2:05:57	そうすると前回の補足説明とか 44 ページとかだとまだ
2:06:05	60、
2:06:09	これ市標高でいくと、
2:06:12	写真でいくと今ちょうど
2:06:14	46.5 とかですぱっと切れ、水平に切れてるようなところで、
2:06:21	地質境界が書いてあっ。
2:06:24	たんですけれども、
2:06:27	すでに前回の資料で、44、45 ページ見ると一番下のたくさん花粉が出てるところっていうのは、
2:06:36	44 ページで、砂岩泥岩ゴソウ相良層って書いてる中で見つかった。
2:06:42	けれども、一応これは、
2:06:44	古谷泥層というところで、44 と 45 ページで少し、
2:06:49	その部分が入れ子になってるっていう。
2:06:53	が、すでに前回の時点でそういうふうな、
2:06:56	評価になってたということ。
2:06:57	ですかね。
2:07:00	中部電力の森本です。全科飯野補足説明資料の 44 ページ等は、今回の資料、
2:07:09	対応関係が整合がとれてないところがございますので、その辺りはですね
2:07:15	訂正させていただく内容も含めて、ご説明させていただきたいと思っております。正しくはですね、
2:07:22	前回資料の 44 ページの下、括弧相良層というところが、
2:07:29	地層の評価まで入っていた。
2:07:33	少し書きすぎの点がございまして、
2:07:35	あくまで監査事実としては砂岩泥岩ゴソウが、
2:07:39	確認できていたという事実のみでございましてその辺りは、今回の資料の中で
2:07:47	整合的なものになるように改めさせていただきます。
2:07:52	規制庁のカイダですわかりましたその辺りも含めてちょっと事実関係が誤解が生じないような形っていうかあったら、新たなデータも含めて、
2:08:02	また説明をしていただきたいので、
2:08:07	よろしく申し上げます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:16	規制庁谷です。ちょっと関連なんですけど花粉が出てきたら、
2:08:20	相良層群じゃないんだよっていうような説明に聞こえたんですけど、それはどうしてなんですか。
2:08:30	はい森本です。
2:08:34	相良層の堆積環境を考えると、割と陸地から遠い、海の底でたまった地層でございますので、
2:08:44	花粉この今出ている花粉がですね、相良層が堆積した時に入ったカウントはちょっと考えにくいと。
2:08:53	考えています。
2:08:54	ここの部分ちょうど、ボーリングを掘ったときの割れだとか崩れみたいなどころも、
2:09:00	あってですね、もしかしたらそのときに入ったかもしれないんですが、ごめんなさい。
2:09:09	ボーリングで追われている。
2:09:11	箇所もございまして、
2:09:13	古谷泥層が堆積した時にこの辺も割れて入ったのか先ほど申し上げたように、
2:09:20	ボーリングをした時に割れて入ったのか。
2:09:24	いずれかかなと思ってんですけどもいずれにしても、
2:09:27	相良層、
2:09:29	花粉が出るとは考えにくいので、今こういう評価にしているというものでございます。
2:09:34	規制庁谷ですけどこの考えは確認できたんですけどこれって、もっと深いところに出てきたら、それがまた境界が変わるとか、
2:09:44	いう気もするんですけどその負荷、それより深いところではやってないんですか。
2:09:53	はい森本です。神崎はこれ以上深いところではやっておりませんで、
2:10:02	やってないです。あとはちょっと相良層に関して、花粉が、
2:10:07	どれだけ出るのかという知見もあんまないんですけども、
2:10:11	やはりその堆積環境を考えるとですねここまで花粉が、
2:10:15	古谷泥層波に出てくるというのは、なかなか考えにくい。僕が聞きたいのはね、何か層相で見えていくとどうやるこれはサクラソウっぽいんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:26	下からこう連続していて同じような地層なんだけど、だけど、中身がちよっと違うから、地層を変えるんだってという話だったら、何かもっとこう深いところも大丈夫なのかなってというのが、
2:10:37	ちょっと思ったところで、その辺はもう少し私も今考えが確認できたので、
2:10:44	ちょっとそういうお考えの前提でこの話がおかしくないのか考えてみます。
2:10:51	はい花粉だけちょっと説明しちゃったんですけども、
2:10:56	ここの花粉が出てるところに、割れだとか、コアの乱れみたいなのところもあってですね。
2:11:02	これが相良層がごめんなさい古谷泥層が堆積したときに、
2:11:07	割れたものなのかなという見方はしております。
2:11:11	ので当然コアの性状と花粉の出方も含めて
2:11:17	こういう評価をしているというものなので、少し今花粉だけになってるところは記載を改めさせていただきます。
2:11:29	うん。規制庁の伊敷ですけども、ちょっと同じところで確認したいんですけども、御社は花粉分析をされているところって、このぼろぼろ崩れてるようなものでやってるんですか。
2:11:43	何か、いつ、分析するときって、
2:11:46	綺麗なコアの部分から分析をする、そCを採取するという、
2:11:51	のが普通かなと思って、今までデータを見てたんですけども、そのあたり、
2:11:57	崩れからとってる可能性があるというようなように聞こえたんですがそのあたりどうなんですか。
2:12:03	はいありがとうございます。基本的には崩れから取ってなくてですね、ちゃんとした小、
2:12:14	綺麗なコアから試料をとっております例えばその直下にですね崩れが入っているので、
2:12:21	その辺が影響を
2:12:24	受けているただただそれは試料採取のタイミングなのか、古谷泥層がたまったときに、この相良層が割れて、入っているのかっていうのまではちょっと、
2:12:34	判断つきかねるというような状態でございます。
2:12:39	規制庁ニシキつARMつまりはそのまあ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:12:43	大きく見ればブロックかもしれないけどもこのコアの経営のサイズ程度のブロック
2:12:50	腕はとれてはとってるというような意味合いっていいですか。
2:12:56	はい森本ですおっしゃる通りですブロックでしっかり取っておりますので
2:13:02	その点は間違いないです。
2:13:06	はい、ありがとうございます。あともう1つこの要綱その最初記載するときに、市来さんのところでも相談泥岩ゴソウという考え方をしてるんですけれども、とりあえずはまあ何とかそうって言い方をすると思うんですけれども、
2:13:20	結構その古谷層と相良層というのが、がんとなって中津層というふうに書け書くのかっていうその、いわゆる属性作用の、
2:13:30	の程度の差みたいなの、あまりないという
2:13:34	ことで理解しておけばよろしいですか。
2:13:39	戻す。ちょっとご質問がよくわからなかったんですがもう一度よろしいですか。
2:13:46	はい。認識ですけども、要は型、古谷泥層って結構かたい地層なんですか。
2:13:53	ただ、相良層って、やわらかい地層なんですかっていう、要は、要は信頼3系の相良層ってそれなりに、続成作用を受けて、固結度が高いような印象を持っていて、
2:14:06	古谷層というのは、10数万年前の田山清野、いわゆる大堀の堆積物なので、まだそこまで属性作用が強くないので、柔、
2:14:18	多少柔、やわらかくって、そもそもコア観察時点で、明瞭に差が出るんじゃないのかなと思ったんでちょっと質問させていただいたんですけれども。
2:14:30	はい。森元です。
2:14:33	やわらかさは全然硬さは、古谷泥層と相良層は全然違いまして、明瞭に区別ができます。
2:14:41	なのでこの柱状図を書いた人も、
2:14:45	46.50 と。
2:14:47	の、上と下で、シルトと砂岩泥岩ゴソウっていうのをしっかり分けて評価してます。
2:14:54	ただ古谷泥層がここまでだという、言っている。
2:14:59	記載と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:01	相良ジュース相良層がここからだと言っているところのギャップ。
2:15:07	があってですね、この
2:15:10	46.50 から 6 号までの砂岩泥岩をどっちに分類するんだという、
2:15:17	整理までは、
2:15:18	してないような状態でございます。
2:15:23	なので花粉分析も含めてですね、
2:15:29	当然、この佐賀 5 層がたまった時代は嵯峨相良層だというふうに我々も考えておりますが、
2:15:36	データの取り扱いとして、
2:15:40	古谷泥層がたまった時代に、ここの花粉が入ったんだと。
2:15:46	いう評価をしているという、
2:15:48	ものでございます。
2:15:51	笹木です。若干補足いいですか。
2:15:55	どうぞお願いします。
2:15:57	えっとですねこれ、このコアを観察するとちょっとこれ、コア観察者にちゃんとヒアリングしてみなきゃわかんないところはあるんですけど、私の記憶と、この写真と見比べて今、
2:16:10	いえるのは、今花粉分析してるところが、見ていただいたらわかるように 46.4 から 46.5。
2:16:20	それと、この 46.6 から 46.65 の間花粉分析してるんですね。
2:16:26	これ何でここか分析しようかと思ってるかっていうと、やわらかいから、
2:16:31	これが分析できるだろうと思ってやってるんですね。相良層花粉分析しても、
2:16:37	今までそんなに間いっばい出てきたっていうデータがないので、
2:16:43	データっていうかそういう文献もないので、相良蘇武、花粉分析はしようとしてない。
2:16:50	で、
2:16:50	ポイントはこの
2:16:52	46.50 から、
2:16:55	46.60 の間、この間は相良層に見えるんですよ。
2:17:01	これと、その
2:17:02	すぐ直下の、
2:17:04	46.65 から崩れて、ちょっと、
2:17:08	コア採取時の崩れかなっていうやつが 46.7。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:15	2 か 3 ぐらいまでありますね。
2:17:18	こっから下、これより下位と、この 46.5 から 46.6 って、これ硬さも一緒で下部付けも一緒なので、これは、
2:17:28	相良層っぽく見えるんで、
2:17:31	ただこの下にやわらかいところがあるこの 5 センチ 3 センチから 5 センチぐらいのこの今、花粉分析を測定した場所ってのは、
2:17:38	その下の崩れみたいに崩れたからやわらかくなったのか、それとも、
2:17:45	古谷泥層だからやわらかいのかっていうのが判断できなかった。
2:17:50	当時の人は、ここコア観察者おそらくここも含めてみんな、ちょっと崩れてやわらかくなったんだろうと判断して、
2:17:59	46.50 まで、相良層のトップをここに置いたんですけど、
2:18:05	その花粉を分析してみると、その下でやわらかいところで、しかも崩れてない、一応柱状でコアがとれてるところで測ってやると花粉がたくさん出るので、
2:18:16	今の解釈としてはこの 46.50 から 60 の間は、相良層のブロックだと。
2:18:24	これ相良さんの力だというふうに判断して、今は、古谷泥層と相良層の位置を、
2:18:30	言え、矢印で書かれてるような箇所に変更。
2:18:35	変更していきたいという思いで書いています。
2:18:48	規制庁の名倉です。
2:18:50	これはボーリング柱状図を出した段階から今回、解釈を変更するということであれば、今回それに対する説明を、
2:19:02	尽くしていただきたいと。で、
2:19:06	ボーリングコアのチュウゾウ出すときの、
2:19:10	今説明があったような内容をちょっと丁寧に説明していただいた方がいいかなと。
2:19:16	それはどうしても粒ボーリング柱状図書換えの問題とかいろいろ、どうしてもちょっと頭をよぎってしまうので、
2:19:26	そういったところに対して解釈を変更するのであればその経緯と、根拠とかそういうものをしっかり示していただく。
2:19:35	取り扱い上の問題なのかもしれないんだけど、そこら辺はちょっと正直にちょっといろいろ説明していただきたいなと思いました。以上です。
2:19:45	わかりましたありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:49	はい中部電力の有本です名倉さんおっしゃったところ、承知いたしました。
2:19:55	今回
2:19:57	この資料は、調査の追加検討状況をご説明する資料になるんですけども、
2:20:04	そういった中で説明
2:20:07	スライドを追加させていただいた方が良いか。
2:20:09	次回、しっかり調査結果を説明する時にですね、そのあたりの経緯も含めて、
2:20:16	ご説明させていただいた方が良いかどちらがよろしいでしょうか。
2:20:20	規制庁の名倉です。
2:20:22	まず注記のところの理由づけですね、これについては
2:20:29	検出されているということを理由にしてるんですけど、
2:20:33	これは相良層では検出されにくい。
2:20:38	という古藤をちゃんと堆積環境との関係で、これを根拠にしようとしてるってことがまずわかるようにするってことが今回資料上は必要かと思います。あと、
2:20:50	層境界をボーリング柱状図から変更するという点に関してはその経緯と、
2:20:56	その根拠については、今後、しっかり明確化して説明しますという方針を述べていただければ、
2:21:03	今回はそれでいいのかなと思います。
2:21:05	ここだから何もあんまり、今みたいな状況でいくとどここれどういうことを、どうすんですかっていうことでね、これをどういう経緯、変更するんですか。それはいつ変更する話ですかとか、
2:21:16	そういう話が巻き起こってしまいますので、
2:21:19	そういったことを踏まえた、記載を入れていただければそれでいいかと思います。以上です。
2:21:27	モリモトです承知いたしましたそういう今後説明するところを、
2:21:34	記載させていただきます。
2:21:36	1点ちょっと関して変更するというわけではなくてですね、
2:21:43	球場ゾーンの
2:21:46	一時観察者が書いていた内容の空白地帯。
2:21:50	ここまでが古谷泥層だここからが相良層だという、その空白地帯の解釈を追加したと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:57	というのが今回のこの地層境界の話になりますので、
2:22:03	その辺りはですねしっかり次回のコメント回答の中で説明させていただきます。
2:22:13	94 ナグラです。わかりました
2:22:16	今回のだから何て言うのかな、ここで説明することの意図ですね。
2:22:21	そこのところははっきりしてください。今聞いて
2:22:24	解釈の変更ではなくてもそもそもともと、
2:22:29	これについてはグレーゾーンだったとそれについて明確化しますということであれば、そのような説明をまずちゃんとしていただくのが重要かと思います。
2:22:40	ただそれに対して運営そうなんですかっていうことがもしあるのであればそれは会合で、
2:22:45	少し議論したいと思います。以上です。
2:22:49	はい。モリモトです承知いたしましたその旨ばかりを記載いたします。
2:22:54	規制庁谷です。ちょっと時間大分押してるんで簡単に答えてくれたらと思うんですけど、今何か
2:23:02	笠名礫層の調査っていうことで3ページで笠名1地点をやりますよっていう話なんですけど、これ1点だけやるんですか何か。
2:23:12	こういうのってこうたくさんあれば、
2:23:15	あるほどいいんじゃないかなっていう気もしたんですけども春日井地点、
2:23:19	1点で整理されるっていうことで、
2:23:22	その辺の考えをちょっと簡単に聞かせてくれたらと思うんだ。
2:23:27	はい新本です。笠名1.1. で説明させていただこうと思っておりますその前提として5ページのご説明しましたように、地形の対比、
2:23:38	なんかも使いながらですね何で1点だとか、この層準でいいんだというところを、
2:23:44	説明させていただく予定であります。
2:23:49	はい。あれですかねその前提としてそのちょっと前の話としては、文献調査では笠名笠名礫層がたくさんあるのはあるんですかね、たくさん。
2:24:01	あるんだけどその中で笠名1点が最適だっていうふうに、
2:24:05	中部電力は考えたっていうことなんですか。
2:24:10	はい堀本です。文献では五藤が3、2から二つ三つございましてそのうちの1点ですね笠名礫層と言われてるところも結構限られておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:23	違う打つ手に変えたところでそこまで顔つきは変わらないよというところも含めて説明させていただきます。
2:24:31	辺りです事実関係わかりました。
2:24:34	あと1点はですねちょっと何か注文というところなんですけど何か、5ページで、せっかく仮称断面とか書いてくれてるんですけど、
2:24:43	これ何で北川00キロになってて、何て言うんすかね。仮称残念書くんだったらもう何か海野。
2:24:50	なんていうのかな、標高0メートルオン0キロにしてもらったらいのになって思うのと、
2:24:56	あともう1点は、
2:24:59	何だっけ、敷地の陸成泥層とかいう、
2:25:03	のも、その後、3ページには出てるんですけど、これってその、この断面図に、
2:25:08	こうなんか入れてもらった方が、
2:25:11	わかりやすいかなって、どうという関係なのかっていうのがですね、その辺、
2:25:17	aに追加するとか修正するっていうことだけなのでぜひお願いしたいんですけどいいですかね。
2:25:26	はい森元です。まずスタートを、
2:25:30	加工にするというところ、それから、敷地の泥層。
2:25:34	の分布標高分布位置も入れるということで、承知いたしましたん対応させていただきます。
2:25:41	井谷ですお願いします。
2:25:49	規制庁のカイダです。1点だけ、また確認させてくださいちょっと全体的な、
2:25:55	方針的なところなんですけれども、
2:25:59	今回の資料全体見ると、さっきの比木2地点のところとかも含めて、
2:26:07	おぼれだ2枚積層みたいなものから
2:26:11	古谷泥層、ここで見られている最下部の、
2:26:15	古谷泥層比木2も、BF4もおぼれ谷埋積そうなんだっていう
2:26:20	ところで、そういった説明ができるかどうかっていうところを、
2:26:25	今検討されてるように見えるんですけども、
2:26:30	前回の資料とかではBF4とか比木2の株、
2:26:36	二分して、
2:26:39	下の方は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:42	加瀬先生の
2:26:44	堆積物で、
2:26:45	そのちょっと上に行ったところから覚えタニ、
2:26:49	沼井関宗。
2:26:50	になったんじゃないかっていうような説明だったと思うんですね。
2:26:55	それを、
2:26:57	そこのあたりをちょっと検討して、
2:27:01	実実は下の方から最初からおぼれ谷井関宗。
2:27:05	からスタートしてるんじゃないかというところ、そういう大枠で言うと そういった説明。
2:27:11	になる。
2:27:12	ような、
2:27:14	検討を今されてるというそういったイメージでしょうかちょっとそれも し違ってたらあれなんですけれども、
2:27:20	いかがでしょうか。
2:27:22	森本です。会社の赤井さんおっしゃる通りでございまして今まで日にち 店の株は、
2:27:29	川の影響がだとかいう話をご説明させていただきましたがもう少し詳細 に観察することで、
2:27:37	結構皆影響が入ってきてるといことがいえるようになりそうなので その辺りを含めて、
2:27:44	古谷泥層の真木地点の古谷泥層がどういったまり方したのか。
2:27:48	いう考察をしっかり行った上で、じゃあ、BF4地点ってどこに当たる んだというのが、
2:27:55	コメントの一番の一つ目の観点でご指摘いただいた内容かなと思います ので、そういった観点で今、
2:28:02	まとめを作っております。
2:28:08	木瀬。
2:28:09	清町の方、わかりましたので、全体的にそういった方針で、
2:28:14	今されてるといところはわかりましたいづれ
2:28:18	企業と出していただく時はその、
2:28:21	その以前の考え方。
2:28:24	でこうだった今回、新しくデータ付け加わってどうだっていうとその辺 の経緯も含めて、
2:28:30	あと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:31	整合的に説明できるような形で、
2:28:35	資料を構成していただければと思っておりますので、
2:28:39	よろしくお願いします。
2:28:43	はい、承知しました。ありがとうございます。
2:28:53	通常ニシキです。
2:28:55	ちょっと時間超過してしまっているところで申し訳ないですが、 規制庁の側からは、
2:29:02	確認終了ってことでよろしいですかね。
2:29:11	はい。あと、規制庁側からの確認は以上ということで、
2:29:16	いたします。十人力さんの方から最後、何かありましたらお願いしますが、
2:29:23	中部電力天野でございます。先ほど、審査の方が6月10日予定ということ、お話し伺いましたので、おそらく通常でいきますと、資料提出が、 来週の月曜日に、
2:29:37	なろうかと思えます。今日ご確認いただいて少し修正するところは、今週中にしっかり対応させていただきたいと思えますまた、変更点についてもわかるように、リスト化して資料で数字、
2:29:51	2、お渡しできるように対応いたします。
2:29:58	規制上認識です。それでは対応の方をよろしくお願いいたします。
2:30:09	はい。それでは本日のヒアリングの方を終了したいと思います。お疲れ様でした。
2:30:17	ありがとうございました。
2:30:19	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。